

市 民 交 流 課

○ 市民交流関係

1 市民活動促進事業

(1) いせ市民活動センター指定管理者制度

平成16年4月に開設をし、同年7月から、指定管理者制度を導入して公設民営により運営している。また、平成29年度からの第5期（3か年）指定管理者更新に向けて、選定を行った。

期 間	委 託 金 額	指定を受けた管理者
<第1期> 自 16. 7. 1 至 17. 3. 31	円 7,828,000	特定非営利活動法人 いせコンビニネット
<第2期> 自 17. 4. 1 至 21. 3. 31	48,202,000	〃
<第3期> 自 21. 4. 1 至 24. 3. 31	46,777,000	〃
<第4期> 自 24. 4. 1 至 29. 3. 31	59,832,000	〃
<第5期> 自 29. 4. 1 至 32. 3. 31	41,177,000	〃

ア 指定管理者更新にかかる選定委員会等

年 月 日	内 容
28. 6. 24	第1回指定管理者選定委員会 ・選定委員会委員委嘱 ・審議事項：募集要項及び業務仕様書について
28. 8. 4	施設案内会・応募者説明会 ・募集要項及び仕様書について ・施設見学
28. 10. 21	第2回指定管理者選定委員会 ・書類審査（第1次審査）
28. 10. 28	第3回指定管理者選定委員会 ・プレゼンテーション審査（第2次審査）

イ いせ市民活動センター運営事業

- ・市民活動の拠点として、また中間支援施設としての市民公益活動の相談、ホームページ、情報誌（「パーティ」年4回発行）等広報ツールを活用し、市民活動に関する情報の収集及び提供等を行った。

- ・市民活動を深く広めるため、市民及び団体との交流事業を図るよう促した。

年 月 日	内 容
28. 7. 3	第3回「ダンスワールドin伊勢」(注) 第19回ミュージックコミュニケーション (注)
28. 7. 7	登録団体意見交換会&交流会
28. 7. 23	「私たちができること伊勢」VOL10 (注)
28. 12. 11	防災フェスティバル
28. 12. 23	第20回ミュージックコミュニケーション (注)
29. 1. 21	「私たちができること伊勢」VOL11 (注)
29. 3. 18	第7回いせ市民活動フェスティバル

(注) 熊本地震義援金のためのチャリティーイベントとしても開催。

- ・ワーキングスペースに印刷機、コピー機、レンタルパソコン(センター内の利用に限る)を設置。また、会議スペース、フリースペース、情報スペースを開放し市民活動を支援した。

ウ センター管理業務

施設利用の登録、使用許可及び施設・設備及び機器の維持管理

(施設稼働状況)

	北 館				南 館		
	平 均 稼 働 率				利用者数	平 均 稼働率	利用者数
	多目的 ホール	A会議室	B会議室	1 F ホール			
24. 4. 1 ～ 25. 3. 31	%	%	%	%	人	%	人
	34.2	41.2	47.3	28.3	43,737	24.9	14,778
25. 4. 1 ～ 26. 3. 31	41.7	45.1	52.0	29.2	47,116	22.6	15,351
26. 4. 1 ～ 27. 3. 31	38.5	47.1	57.1	32.7	48,841	25.1	16,785
27. 4. 1 ～ 28. 3. 31	31.9	42.8	49.5	27.8	43,031	26.2	15,130
28. 4. 1 ～ 29. 3. 31	37.1	48.6	54.3	32.6	43,911	28.7	15,623

※平均稼働率・・・稼働実績時間数 / (稼働可能時間(11時間) × 稼働可能日数) × 100

(登録団体数)

基 準 日	25. 3. 31	26. 3. 31	27. 3. 31	28. 3. 31	29. 3. 31
登録団体数	162	174	185	180	182

(2) 工事関係

いせ市民活動センターの敷地内及び機器類の修繕工事を行った。

施行場所	工 事 名	工 事 概 要	金 額	着 工	完 工
岩 湊 1 丁 目 地 内	(注1) いせ市民活動セン ター北館外冷却塔 修繕工事	密閉型空調冷却塔ファ ン整備 一式	円 2,352,240	28. 9. 30	28. 11. 28
〃	(注2) いせ市民活動セン ター花壇改修工事	縁石ブロック設置工 3m 張りコンクリート工 5 m ² 案内看板撤去設置工 1 か所	594,000	29. 1. 19	29. 2. 6
〃	(注3) いせ市民活動セン ター非常用発電機 等修繕工事	非常用発電機取替 一式	11,440,000 【契約額】 28,620,000 〔平成28年度〕 11,440,000 〔平成29年度〕 17,180,000	29. 2. 10	29. 8. 8 (予定)
計	3 件	—	14,386,240	—	—

(注1) 建築住宅課施行

(注2) 維持課施行

(注3) 建築住宅課施行、平成29年度へ一部繰越

※合計は、各行の最上段を合算。

2 活性化活動事業

市内に活動拠点を置く地域グループや活動団体が、元気で活気溢れる地域づくりに貢献し市民自治の担い手として継続的に活動ができるよう、その経費の一部を補助した。

平成28年6月15日に申請団体のプレゼンテーションによる審査会を開催し、交付団体を決定した(申請8団体、交付決定7団体、不交付決定1団体)。審査員には民間及び学識経験者から5名、県職員1名を委嘱した。

なお、補助金は補助対象経費の10分の8以内、10万円を上限額として交付した。

(1) 対象事業

保健・医療又は福祉の増進、子どもの健全育成、社会教育、まちづくりの推進、学術・文化・スポーツの振興、環境の保全、災害救援、地域安全、人権の擁護又は平和の推進、国際協力、男女共同参画社会の促進、雇用機会の拡充支援、情報化社会の発展等を内容とする活動

(2) 平成 28 年度交付団体（7 団体）

団 体 名	事 業 名	交 付 額
みやまえ文化祭実行委員会	みやまえ文化祭	円 100,000
宮川桜寿会	未来へ繋ぐ宮川町今昔物語小冊子の制作	100,000
セイラビリティ伊勢	伊勢市民海洋スポーツ体験事業（伊勢市民海洋スポーツ体験会）	80,000
本町春木太鼓	本町春木太鼓の伝承活動を通じた地域ふれあい事業	100,000
外宮にぎわい会議	第 17 回御塩道を歩く	100,000
いせ第九実行委員会	平成 28 年度「いせ第九コンサート」	100,000
二見浦西行実行委員会	西行法師に係る啓発と勉強会	100,000
計		680,000

3 伊勢のまつり開催事業

市民が「見て」、「参加して」楽しめる行事を通じて、市民の一体感の醸成を図るとともに市民文化の向上に寄与し、ふるさとづくりの推進を図ることを目的に開催している。

平成 28 年度は 70 団体の代表者等からなる実行委員会により企画・運営を行った。

当日は幼稚園児によるマーチング、お木曳き車、みこし、太鼓などのパレードが、イベント広場ではよさこいソーラン、ダンス、マジックなどのパフォーマンスが、会場一帯で地場製品の展示、販売など数多くの出展・出店があった。フィナーレでは、郷土出身の演歌歌手・中西りえ氏に出演してもらい、伊勢音頭の総踊りを開催した。また、今回初めて実行委員会に青年部を立ち上げ、8 日（土）に駅前イベント広場において青年部の企画・運営によるイベント「心の音色に舞い灯す」を開催した。よさこいソーランやミニコンサートのほか、伊勢志摩サミットでも話題となった竹灯りのワークショップを開催し、夜には幻想的な空間を創出した。

なお、10 月 8 日～16 日までを「おおまつりウィーク」とし、期間中には「伊勢まつり」のほか「神嘗奉祝祭」と「初穂曳」もそれぞれ開催された。

- (1) 開催日 平成28年10月 8 日（土）、9 日（日）
- (2) 会場 高柳商店街周辺～県道鳥羽松阪線（尼辻交差点）～伊勢市駅周辺
- (3) 参加団体数 延べ 226 団体（5,161 人）
- (4) 来場者数 約 14 万人

4 伊勢市矢持会館管理事業

農林漁業体験実習館を、平成23年4月1日から名称変更をし、指定管理者制度を導入して公設民営の集会施設として運営している。

- (1) 指定管理者 矢持町下村区
- (2) 指定管理料 270,000円(年額)
- (3) 指定管理期間 平成28年4月1日～平成33年3月31日
- (4) 利用者数 4,783人(平成28年度)

○ コミュニティセンター関係

1 地区コミュニティセンター維持管理経費

地域社会づくりを推進するための地域活動の場に供するとともに、市民の生活文化の向上及び福祉の増進を図るため、地区コミュニティセンターを設置している。

コミュニティセンター使用状況

(1) 豊浜地区コミュニティセンター

会議室利用状況				図書室利用状況	
会議室1	会議室2	計	利用者数	貸出人数	貸出冊数
件	件	件	人	人	冊
48	24	72	918	236	409

(2) 城田地区コミュニティセンター

会議室利用状況				図書室利用状況	
会議室1	会議室2	計	利用者数	貸出人数	貸出冊数
件	件	件	人	人	冊
268	88	356	6,061	370	746

(3) 沼木地区コミュニティセンター・農村環境改善センター

会議室利用状況				図書室利用状況	
会議室	生活研修室	計	利用者数	貸出人数	貸出冊数
件	件	件	人	人	冊
93	37	130	1,895	282	677

(4) 神社地区コミュニティセンター(みなとデイサービスセンターに併設)

図書室利用状況	
貸出人数	貸出冊数
人	冊
362	901

(5) 北浜地区コミュニティセンター

会議室利用状況				図書室利用状況	
会議室1	会議室2	計	利用者数	貸出人数	貸出冊数
92 件	32 件	124 件	1,984 人	337 人	1,129 冊

(6) 浜郷地区コミュニティセンター

会議室利用状況				図書室利用状況	
会議室1	会議室2	計	利用者数	貸出人数	貸出冊数
179 件	23 件	202 件	2,770 人	759 人	1,654 冊

(7) 宮本地区コミュニティセンター

会議室利用状況				図書室利用状況	
会議室1	会議室2	計	利用者数	貸出人数	貸出冊数
213 件	146 件	359 件	3,753 人	234 人	627 冊

(8) 大湊地区コミュニティセンター

会議室利用状況				図書室利用状況	
会議室1	会議室2	計	利用者数	貸出人数	貸出冊数
47 件	47 件	94 件	1,403 人	851 人	2,067 冊

2 工事関係

神社地区コミュニティセンター内の空調機の更新工事を行った。(みなとデイサービスセンターと併設しているため、福祉総務課へ執行委任)

施行場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
神社港地内	みなとデイサービスセンター空調機更新工事	パッケージエアコン更新 3組 ビルマルチエアコン更新 3組	9,234,000 円	28. 5. 27	28. 7. 25

○ 国際交流事業関係

1 多文化共生事業

市民ボランティア及び外国籍を持つ人々と「ともに暮らす国際交流のまちづくり」を推進した。

(1) 外国人住民への支援

ア 外国人研修制度により来日した技能実習生対象の説明会を開催(8回)

イ 「外国人をサポートするための避難所運営訓練」等の開催

三重県国際交流財団に委託し、災害発生時の外国人住民への情報提供や避難所運営に関する実践的な訓練や外国人住民を対象とした避難所説明会を行った。

(ア) 外国人のための防災説明会

- ・日時 平成29年 1月22日（日）13：30～16：00
- ・場所 伊勢市防災センター 3 F 防災体験学習室及び 2 F 防災研修室
- ・対象 外国人（市内在住、在勤、在学）
- ・参加人数 56人（中国 26人、ミャンマー11人、ベトナム 11人、アメリカ 1人、フィリピン 1人、日本 6人）

(イ) 避難所運営に関する研修会

- ・日時 平成29年 2月21日（火） 9：30～11：30、13：30～15：30
- ・場所 伊勢市防災センター 2階 研修室 1
- ・対象 避難所担当職員
- ・参加人数 57人（午前：32人、午後：25人）

ウ 伊勢市生活ガイドの更新及び増刷

市内在住外国人へ生活に関する情報を提供するための伊勢市生活ガイドの更新及び増刷を行った。〔英語 300部、中国語（簡体字） 500部、ポルトガル 200部、やさしい日本語 400部〕

エ 生活ガイド及び防災ガイド等の外国人全世帯への配布

防災ガイド（中国語、英語、ポルトガル語、タガログ語、やさしい日本語）等を市内在住外国人全世帯 647世帯へ配布した。

オ 三重県市町多文化共生ワーキングへの参加

外国人の定住化が顕著になる中、県内の外国人住民と共生する施策を考えるための多文化共生ワーキングが三重県及び 11市町のメンバーにより開催され、計 10回参加した。

2 国際交流推進事業

(1) 伊勢市国際交流協会

国際交流事業を通して、市民と外国の人々との交流、親善の促進と国際相互理解の増進を図り、世界平和の理念の達成に資するとともに、国際感覚あふれるまちづくりに寄与することを目的として活動している。市は、事務局としてその活動を支援し、市民とともに国際化に関する事業を推進している。

- 主な事業
- ・外国人住民のための日本語教室
 - ・国際理解講座
 - ・世界の文化の紹介イベント
 - ・伊勢市駅前ボランティアガイド
 - ・会報誌の発行 等

平成 28年度は伊勢志摩サミット開催を記念して下記の事業を実施した。

ア サミット開催記念フランス講座～フランスについて学ぼう！～

- ・日時 平成28年9月25日（日）10：00～11：30
- ・場所 伊勢市ハートプラザみその2階 保健会議室
- ・講師 イレール・キャミ氏（志摩市在住フランス人）
- ・参加人数 17人

イ サミット開催記念ドイツ講座～ドイツについて学ぼう！～

- ・日時 平成29年1月28日（土）13：30～15：00
- ・場所 伊勢市ハートプラザみその2階 保健会議室
- ・講師 バートロメー・セバスティアン氏（玉城町在住ドイツ人）
- ・参加人数 17人

ウ 世界の料理パーティー（カナダ編）

- ・日時 平成29年2月5日（日）14：00～16：00
- ・場所 伊勢市福祉健康センター 調理室
- ・講師 ミシェル氏（伊勢市在住カナダ人）
- ・参加人数 20人

平成29年3月末会員数 個人会員122名、団体会員6団体、企業会員2企業

(2) 伊勢市国際交流フェスティバル

市民の国際感覚の醸成を目的として、市内外の国際交流・多文化共生関係団体で構成する伊勢市国際交流フェスティバル実行委員会を結成し、「伊勢市国際交流フェスティバル」を実施した。

- ・開催日 平成29年3月5日（日）
- ・会場 伊勢市ハートプラザみその
- ・来場者数 約500人
- ・実施内容 国際交流や多文化共生に関するブース展示
（伊勢志摩サミットに関するブース展示も含む）
国際交流や多文化共生に関するワークショップ開催
スタンプラリーによる外国料理の提供
「地球のステージ」公演の開催

○ 災害ボランティアセンター関係

1 災害ボランティア推進事業

市と市社会福祉協議会が関係団体などと協働して運営する市災害ボランティアセンター（以下、「センター」という）に関して、有事の際に円滑な運営ができるよう、関係団体との連携や新たな人材を育成するための取り組みや、センターの運営者研修等を行った（市社会福祉協議会への負担金により実施）。

(1) 関係団体との連絡会

- ・開催日 平成28年7月20日(水) 10:00~12:00
- ・会場 伊勢市ハートプラザみその 2階 保健会議室
- ・参加人数 22名

(2) 災害ボランティアコーディネーター養成講座

- ・開催日と受講者数
 - 第1回 平成28年11月13日(日) 13:30~14:50 19名
 - 第2回 平成28年11月13日(日) 15:00~17:00 19名
 - 第3回 平成28年11月19日(土) 13:00~13:30 18名
 - 第4回 平成28年11月19日(土) 13:30~14:50 18名
 - 第5回 平成28年11月19日(土) 15:00~17:00 18名
- ・修了者人数 18名
- ・会場 皇學館大學 7号館 712教室

(3) 災害ボランティアセンター運営訓練

- ・開催日 平成29年1月14日(土) 13:00~17:00
- ・会場 伊勢市ハートプラザみその 多目的ホール
- ・参加人数 75名

(4) 資機材の購入

災害ボランティアセンターが行う災害支援活動において必要となる資機材(ショベル、一輪車、ヘルメット等)を購入した。

○ 男女共同参画関係

1 男女共同参画に関する啓発記事の掲載

男女共同参画に関する意識啓発のため、「広報いせ」紙面を活用し、公募市民3人の企画編集による啓発記事「めざそや! 共同参画」を年4回掲載した。

発行日	内 容
5月15日号	・ パパのワーク・ライフ・バランスが家族を幸せに ・ 自分なりの働き方で、仕事も家庭も!
8月15日号	・ 家事育児は妻だけのもの? ・ 楽しい家庭は、お互いを尊重することから
11月15日号	・ パパも、家族と共に成長したい ・ パートナーと共に子育てをしたいなら・・・
2月15日号	・ パパであることを楽しむと家族が笑顔に! ・ イクメンへの道! パパスイッチは早く入れよう

2 男女共同参画推進事業委託

「伊勢市男女共同参画都市宣言」「伊勢市男女共同参画推進条例」の理念を広く市民に周知するとともに、「第2次伊勢市男女共同参画基本計画」の実現に向け、各種の取り組みを行った。主に市民向けの啓発事業の企画運営は、市民団体「NPO男女共同参画れいんぼう伊勢」に委託した。

(1) 三重県内男女共同参画連携映画祭の開催

男女共同参画を推進するために、三重県内の男女共同参画センター5館と22市町が連携し、映画祭を開催した。

(伊勢市での開催状況)

開催日	開催場所	内容	参加人数
28. 6. 26	伊勢市ハートプラザみその多目的ホール	映画「愛を積むひと」上映	人 309

(2) パートナーの日の啓発

男女がお互いを思いやり、感謝する日として条例で定めた「パートナーの日（8月17日）」を広く市民に周知するため、啓発事業を実施した。

ア 啓発品等配布

実施日	実施場所	配布数 (枚・個)	内容
28. 8. 17	ミタス伊勢	300	・啓発用ウェットティッシュ、れいんぼう新聞の配布 ・「パートナーの日に何をする？」アンケート調査
	ララパーク	300	

イ 講演会の開催

開催日	開催場所	内容	参加人数
28. 7. 31	伊勢市生涯学習センター いせトピア 多目的ホール	「女性のキャリア・ラダー～女性と男性お互いを認め合って！～」 講師：菊池桃子さん ※都市宣言10周年記念事業として開催	人 450

(3) れいんぼうカフェの開催

だれもが生きやすい社会づくりのため、気軽に立ち寄り、悩みを話したり共有したりできる居場所づくりに取り組んだ。

開催日	開催場所	内容	参加人数
28. 6. 5	伊勢市生涯学習センター いせトピア 研修室	市長と話そう！れいんぼうカフェ	人 23

(4) 伊勢まつりにおける啓発

市民に広く男女共同参画を啓発するため、伊勢まつりに出展し啓発を行った。

開催日	内 容
28. 10. 8	パネル展示、チラシ・啓発物品などの配布、川柳の展示・募集、「パートナーの日に何をやる？」アンケート調査、子どもメッセージコーナー「パパ・ママにしてもらって、うれしかったこと」など

(5) れいんぼうフェスタの開催

父親の子育てへの参加促進と親子がふれあう機会を提供するため、れいんぼうフェスタを開催した。

開催日	開催場所	内 容	参加人数
29. 2. 5	ミタス伊勢・催事場	おはなし会、親子工作教室・懐かし い遊び体験・シールラリーなど	人 大人 78 子ども 105

(6) その他の啓発事業の開催

開催日	開催場所	内 容	参加人数
28. 9. 11	御菌公民館講堂	・「認知症の“人の気持ち”を理解して～思い を理解してかかわる～」講演会 講師：きらめき介護塾代表 渡辺哲弘さん ・いきいき脳トレ 講師：脳トレインストラクター 岩崎玲さん	人 105

3 伊勢市男女共同参画都市宣言 10 周年記念イベントの開催

平成 18 年 7 月 11 日、男女共同参画都市宣言を行ってから 10 年が経過するにあたり、10 年間の取り組みを振り返り新たな課題を発見し今後を活かすため、実行委員会方式で開催した。

(1) イベントの開催

開催日	開催場所	内 容	参加人数
28. 7. 31	伊勢市生涯学習 センター いせトピア	・分科会と報告会（テーマ「介護」「防災」「仕事」「子育て」「若者」） ・男女共同参画に関するミニ講座 「伊勢市の 10 年のあゆみとこれから」 講師：東京未来大学教授 石阪督規さん ・男女共同参画推進事業者等表彰式 ・講演会・ブース出展（18 団体参加） ・れいんぼうカフェ	人 705

(2) 実行委員会の開催

	開催日	内 容	出席委員
第1回	28. 4. 22	・ 実行委員会の役員選任 ・ 分科会のテーマについて	人 10/10
第2回	28. 5. 18	・ イベント全体の事業内容の決定 ・ ポスター、チラシの選定	7/10
第3回	28. 6. 22	・ 分科会の内容について ・ ブース出展について ・ 館内の配置について	7/10
第4回	28. 7. 21	・ イベント当日の流れ、役割分担について	8/10
第5回	28. 9. 9	・ イベントの振り返り	6/10

4 男女共同参画審議会の開催

男女共同参画に関する施策の実施状況等に対して意見を徴するため開催した。

	開催日	内 容	出席委員
第1回	28. 6. 22	①平成27年度事業実施状況について ②男女共同参画都市宣言10周年記念事業について ③男女共同参画推進事業者等の表彰について ④平成28年度の取り組みについて	人 14/16
第2回	28. 10. 25	①平成27年度事業実施状況報告書について ②平成28年度の取り組みについて	人 12/16

5 企業に向けた啓発

企業における男女共同参画の推進のため、企業訪問や企業向けの研修講座を開催した。また、事業所等における男女共同参画の取り組みを促進するため、積極的に取り組んでいる事業所等を表彰した。

(1) 企業訪問

実施日	訪問先	内 容
28. 11. 28 ～30	横浜ゴム株式会社 三重工場他16社	・ 働きやすい職場づくり、休暇制度の充実・利用促進等の啓発 ・ 国、県の制度の紹介

(2) 企業対象研修講座

開催日	会場	内容	参加人数
29. 2. 6	伊勢商工会議所 中ホール	女性活躍推進セミナー ～女性活躍がもたらす企業の成長とは?～ 講師：大地勉さん（株式会社百五総合研究所 経営コンサルティング部部長兼主席研究員）	8社 11人

(3) 男女共同参画推進事業者等の表彰

※伊勢市男女共同参画都市宣言 10周年記念事業として開催

○女性の活躍推進「きらり」賞

有限会社 南勢建築設計

○仕事と生活の調和实践賞

有限会社 くろべ

株式会社 赤福

○特別賞

一般社団法人 ELLY

○奨励賞

いせ丸（合同会社伊勢路商店）

株式会社 リブネット

6 市民意識調査の実施

第2次伊勢市男女共同参画基本計画の計画期間満了に伴い、来年度新たな計画づくりを行うにあたり、市民意識調査及び事業所調査を実施した。

	市民意識調査	事業所調査
調査時期	1月～2月	1月～2月
調査対象	市内在住の16歳以上の男女	市内在所の従業員概ね10人以上の事業所
発送件数	3,010件	1,510件

7 DV等被害者にかかる事務

(申出件数)

内容	新規	解除	変更	継続
件数	23	25	12	20

8 出会い・結婚支援事業

平成27年10月にオープンした「いせ出会い支援センター」を拠点に、結婚を望む本人や家族からの相談への対応、出会いの場となる婚活イベント等の情報提供、結婚に関する意識啓発に向けたセミナーを開催した。結婚を希望する人が結婚できる地域社会の実現に向け、伊勢市を中心とした定住自立圏域内の市町と連携を図った。

(1) センターの事業内容

ア 業務委託

委託業務名	委託期間	委託金額	委託業者
いせ出会い支援センター 運営にかかる業務委託	自 28. 4. 1 至 29. 3. 31	円 7,556,583	株式会社デルタスタジオ

イ 利用者件数

月	来所	電話	メール	相談	チラシ	計
	件	件	件	件	件	件
4	78	16	2	38	156	290
5	46	25	6	28	155	260
6	66	16	7	25	155	269
7	87	24	10	17	124	262
8	92	23	29	18	112	274
9	107	39	79	14	109	348
10	81	12	9	8	78	188
11	112	5	15	9	91	232
12	82	12	30	12	79	215
1	85	18	98	10	89	300
2	93	10	4	7	66	180
3	110	8	16	15	101	250
計	1,039	208	305	201	1,315	3,068

ウ 婚活イベントの開催

開催日	会場	内容	参加人数
28. 10. 10	三重県営サンアリーナ レセプションルーム	イベント名：「ハロウィンパーティ」 第1部40歳以上、第2部30～45歳、第3部 20～35歳の3部制 男女別座談会、自己紹介、フリータイ ム、投票など	人 63
29. 2. 5	三重県営サンアリーナ レセプションルーム	イベント名：「バレンタインパーティ」 第1部30～45歳、第2部20～35歳の2部制 自己紹介、フリータイム、プレゼント 交換、投票など	58

エ セミナーの開催

結婚を希望する本人やその親に対して、結婚・婚活の状況やスキルアップを目的にしたセミナー、及び出会いイベントを開催する団体向けに、イベントの企画運営のノウハウを提供するセミナーを、センター内で開催した。

開催日	内 容	参加者
28. 5. 21	親向け結婚支援セミナー	人 8
28. 6. 22	出会いイベント企画運営応援団体セミナー	9
28. 7. 27	第一印象を良くするスキルアップ研修	5
28. 8. 24	親向け結婚支援セミナー	5
28. 9. 28	出会いイベントパーフェクトセミナー	6
28.10.19	出会いイベント企画運営応援団体セミナー	3
28.12. 7	親向け結婚支援セミナー	5
29. 1. 18	出会いイベントパーフェクトセミナー	5
29. 3. 22	出会いイベント企画運営応援団体セミナー	2

オ フリーマガジン「いとし・いせ」の発行

いせ出会い支援センターをPRするため、結婚・出産・育児に関する情報を掲載した地域密着型の情報紙を、7月より発行した。

発行部数：3,000部／月

(2) 定住自立圏域市町との連携

伊勢志摩定住自立圏域内市町出会い・結婚支援事業担当者会議を開催した。

開催日	内 容	参 加 市 町
29. 2. 23	今後の取組みについての意見交換	鳥羽市・志摩市・玉城町・度会町・大紀町・南伊勢町・伊勢市

(3) 伊勢市版婚姻届等の提供

少子化対策及びシティプロモーションの一環として、専用サイト上で地域の生活情報や観光情報の発信及び伊勢市独自の婚姻届・出生届をダウンロードできるようにし、結婚・出産のイメージアップを図った。

委託業務名	委託期間	委託金額	委託業者
伊勢市版婚姻・出生届の提供及び情報発信業務委託	自 28. 4. 1 至 29. 3. 31	円 200,000	株式会社リクルート ホールディングス

○ 自治会関係

1 区長謝礼事業

市内 175 自治会の活動について、行政委員等その候補者推薦業務等、依頼事項に対する謝礼を交付した。（報償費総額 7,360,000 円）

2 自治会活動補助事業

(1) 振興助成金事業

市内 68 の地区の円滑な運営と健全な自治会活動を推進するため助成金を交付した。

	自治会数	対象世帯数	振 興 助 成 金		
			平 等 割	世 帯 割	計
			円	円	円
本庁管内	10	1,565	500,000	547,750	1,047,750
支所管内	29	10,308	1,450,000	3,607,800	5,057,800
小俣総合支所管内	29	7,870	1,450,000	2,754,500	4,204,500
計	68	19,743	3,400,000	6,910,050	10,310,050

(2) 元気なまちづくり協働事業

市と自治会が協働して地域社会の活性化を図るため、自治会が各地域において主体的に取り組む事業に対して、補助金を交付した。

補助金は、対象事業費に3分の2を乗じた額か、世帯数に応じて算出された額を比較し、いずれか低い額を限度額として交付した。

(対象事業)

ア 地域に根ざした伝統文化の継承事業	12件
イ 地域の特性を生かしたイベントなどの地域おこし事業	1件
ウ 地域内の清掃美化等の環境保全事業	28件
エ 補導や啓発、巡視活動等の青少年育成事業	3件
オ 訓練や啓発、巡視活動等の防犯・防災事業	8件
カ 少子高齢化社会対策やバリアフリー社会実現のための社会福祉事業	5件
キ 住民の交流を通じ、地域コミュニティを活性化するための地域交流事業	53件
ク その他市長が特に必要と認める事業	0件

(対象自治会) 68 自治会

交付申請・決定 3,342,000 円 (56 自治会)

交付確定 3,185,000 円 (56 自治会)

(3) 広報紙配布等事業

市の広報紙等の配布事業等を行う自治会に対して交付金を交付した。

対象自治会 68 自治会 (交付金額 38,777,400 円)

3 コミュニティ助成事業

(一財)自治総合センターが、全国自治宝くじの社会貢献広報事業費として受け入れる受託事業収入を財源とした事業で、コミュニティ活動の健全育成を図り、コミュニティ組織である自治会等にコミュニティ助成事業補助金を交付した。

(1) 一般コミュニティ助成事業

自治会名	補助金額	事業名
ニュービレッジ大仏山自治会	円 2,500,000	掲示板他自治会活動備品の整備
浦口自治連合会	2,500,000	カラー複合機他コミュニティ活動備品の整備
上区自治会	2,500,000	太鼓の整備
横輪町町内会	2,400,000	町内掲示板他コミュニティ活動備品の整備
計	9,900,000	

(2) 地域防災組織育成助成事業

自治会名	補助金額	事業名
浜郷地区まちづくり協議会	円 2,000,000	防災資機材の整備

4 自治会コミュニティ放送設備整備補助事業

地域住民のコミュニティ活動の推進を図るため、地域活動の活性化及び地域内の情報伝達手として自治会コミュニティ放送設備等を整備する自治会に対して補助金を交付した。

交付自治会数 15自治会

交付金額 1,418,000円

自治会名	補助金額	事業名
上区自治会	円 377,000	拡声放送設備整備事業
東豊浜町西条自治会	451,000	【追加】 "
小計	828,000	2自治会
新出自治区	66,000	【追加】 戸別受信機放送設備整備事業
湯田自治区	33,000	【追加】 "
今一色区自治会	16,000	【追加】 "
中小俣自治区	34,000	【追加】 "
六軒屋自治会	17,000	【追加】 "
掛橋自治区	83,000	【追加】 "
江区	32,000	【落雷故障】 "
三津区	48,000	【追加・落雷故障】 "

山田原区	円 32,000	【落雷故障】戸別受信機放送設備整備事業
溝口区	32,000	【落雷故障】〃
朝熊町自治会	66,000	【追加】〃
鹿海町自治会	55,000	【追加・難聴解消】〃
小計	514,000	12自治会
明野第4自治区	76,000	【追加】メール配信設備整備事業
小計	76,000	
合計	1,418,000	15自治会

5 自治会集会所建設等事業補助金

地域のコミュニティ活動の場を確保することや自治会の負担軽減、集会所の長寿命化のため、自治会等が活動拠点として所有し、維持管理する集会所の購入、改築、修繕及びバリアフリー改修を行った自治会に補助金を交付した。

交付自治会数 7自治会

交付金額 9,810,000円

自治会名	補助金額	補助種別
サンパークタウン自治会	円 1,333,000	購入
小計	1,333,000	
城田団地自治会	4,955,000	改築
小計	4,955,000	
小木町	1,000,000	修繕
大世古町会連合会	710,000	〃
小計	1,710,000	2自治会
二俣1丁目町会	317,000	バリアフリー改修
楠部町自治会	1,000,000	〃
大倉うぐいす台自治会	495,000	〃
小計	1,812,000	3自治会
合計	9,810,000	7自治会

6 伊勢市総連合自治会事務

伊勢市総連合自治会は、各自治会による自治活動について連絡協議し、自治会相互の親和と市民の福祉増進に努めるとともに、市政の発展に寄与することを目的として活動している。事業活動を支援するため会員である165自治会へ補助金を交付した。（補助金 1,430,000円）

平成28年度は、伊勢志摩サミット開催を記念して、伊勢志摩サミット開催50日前花いっぱいおもてなし運動植栽式を実施した。（三重県自治会連合会加入団体が県内で一斉実施した「花いっ

ばいおもてなし運動」に参加。)

- ・日時 平成28年4月6日(水) 10:00~10:30
- ・場所 市役所本庁舎1階ロビー
- ・内容 花苗50本をプランター10基に植栽し市庁舎へ設置
- ・参加者 会長ほか役員9人(来賓:市長、市議会議長を含む)

7 認可地縁団体等関係

(1) 地方自治法第260条の2の規定に基づき、自治会等地縁による団体の法人格取得について、認可事務を行った。

平成28年度 地縁団体認可団体数6団体(累計認可団体数87団体)

(高向区、西口町会、ライブリーシティ伊勢前山自治会、八日市場町会、藤里団地自治会、サンパークタウン自治会)

(2) 地方自治法第260条の38の規定に基づき、認可地縁団体が所有する不動産に係る登記を特例で行うため、一定の要件を満たした場合について申請を受け付け、公告事務を行った。

平成28年度 公告申請団体数1団体(高向区、公告8件)

○ 地域自治推進関係

1 地域自治推進事業

(1) 「ふるさと未来づくり」の取り組み

平成27年度から本格稼働した「ふるさと未来づくり」制度を推進し、地域自治の実現を図った。

市と地域とのパイプ役として各小学校区に地区担当職員を配置し、事業の運営に必要な情報提供や助言を行い、まちづくり協議会の活動を支援した。

<地区担当職員>

部課長級職員78人

(内訳:明倫、有緝、厚生、大湊、二見、御菌学区は各4人、その他学区は各3人)

(2) 広報活動

「広報いせ」でシリーズ「わたしたちの地域だから、わたしたちでやりたいことがある」を隔月連載することにより市民への制度周知を図るとともに、ケーブルテレビ行政番組でも「ふるさと未来づくり」の概要を伝えた。

また、本庁舎1階市民ホールにパンフレットスタンドを設置し、各まちづくり協議会が作成したチラシ等を配置し、周知啓発を図った。

(3) 研修会、講演会等の開催

ア 「まちづくり研修会」の開催

地域の自主自立のまちづくりを推進するため、広報研修を行った。

開催日 平成28年8月3日(水)

開催場所 伊勢市ハートプラザみその 多目的ホール
内 容 広報研修会
テーマ 今までの広報を見つめ直そう
講 師 澤 卓哉（NPO法人Mブリッジ副理事長）
参加者 まちづくり協議会 44人

イ 「まちづくり講演会」の開催

「ふるさと未来づくり」に対する理解を更に深めるとともに市全体の気運の醸成を図るため、まちづくり講演会を開催した。

開催日 平成28年11月3日（木・祝）
開催場所 伊勢市生涯学習センター いせトピア多目的ホール
演 題 地域コミュニティは再生できるか～コラボが生み出す地域再生ストーリー
講 師 石坂 督規（埼玉大学基盤教育研究センター教授）
参加者 まちづくり協議会、一般市民等 約100人

ウ 「ふるさと未来づくり意見交換会」の開催

まちづくり協議会間の情報交換を行うため、意見交換会を2回開催した。

（第1回）

開催日 平成28年11月28日（月）
開催場所 御菌公民館 講堂
内 容 ふるさと未来づくり制度の施策説明、意見交換
参加者 まちづくり協議会 44人

（第2回）

開催日 平成29年2月23日（木）
開催場所 御菌公民館 講堂
内 容 活動事例発表、意見交換
参加者 まちづくり協議会 42人

エ 「地区担当職員会議」の開催

「ふるさと未来づくり」の今後の展開を説明するため、地区担当職員向け研修会を開催した。

開催日 平成28年11月30日（水）
開催場所 東庁舎 防災対応スペース1
内 容 平成29年度からの取り組みについて
講 師 市民交流課職員
参加者 職員 23人

オ 「職員向け研修会」の開催

「ふるさと未来づくり」に対する理解を更に深めるため、職員向け研修会を開催した。

開催日	平成29年2月22日（水）
開催場所	本庁舎4-4、4-5会議室
演題	ふるさと未来づくり制度について
講師	市民交流課職員
参加者	職員 84人

(4) まちづくり協議会への財政支援

まちづくり協議会が実施する事務事業の財源として、ふるさと未来づくり資金を交付した。

- ・ 交付金額：175,624,764円
- ・ 交付件数：23件

2 市民活動補償制度

「ふるさと未来づくり」での活動を含め、市民が安心して活動を行えるよう、活動拠点が伊勢市にある市民団体等の公益活動中に起きた事故に対し、傷害事故や賠償責任事故を補償する制度を平成23年度より導入している。

名称	「市民活動補償制度費用保険契約」
保険期間	平成28年6月1日午後4時から平成29年6月1日午後4時まで
契約額	1,154,760円
適用件数	10件（傷害補償8件、賠償責任補償1件、弔慰金1件）

○ 合併調整関係

1 地域審議会委員の委嘱

地域審議会委員の第5期の任期が、平成28年3月31日で満了となったことから、第6期（任期：平成28年4月1日～平成30年3月31日）委員を委嘱した。

2 地域審議会正副会長会議

伊勢、二見、小俣、御薊の4つの地域審議会の意見交換の場として、正副会長会議を次のとおり開催した。

開催日	平成29年2月17日（金）
開催場所	御薊総合支所3階 3-2会議室
協議事項	各地域審議会の状況及び今後の進め方

戸 籍 住 民 課

○ 戸籍住民係

1 住民関係

(1) 住民基本台帳世帯数 (平成 29 年 3 月 31 日現在)

区 分	日本人	外国人	混合世帯	計
世 帯 数	54,099 世帯	497 世帯	191 世帯	54,787 世帯

(注) 伊勢市総数

(2) 住民基本台帳人口 (平成 29 年 3 月 31 日現在)

区 分		日本人	外国人	合 計
人 口	男	60,399 人	319 人	60,718 人
	女	67,075	495	67,570
	計	127,474	814	128,288

(注) 伊勢市総数

(3) 住民異動状況 (平成 29 年 3 月 31 日現在)

区 分		件 数
届 出	転 入	2,708 件
	転 出	3,134
	転 居	2,098
	世 帯 変 更	1,304
	そ の 他	30
職 権	出 生	857
	死 亡	1,548
	職 権 消 除	12
	修 正	2,063
計		13,754

(注) 伊勢市総数

2 戸籍関係

(1) 戸籍数及び本籍人口 (平成 29 年 3 月 31 日現在)

戸 籍 数	61,677 戸籍
本 籍 人 口	148,613 人

(注) 伊勢市総数

(2) 届出事件の状況

事件の種類	届出	他市町村からの送付	合計
出生	681 件	408 件	1,089 件
婚姻	566	848	1,414
離婚	168	146	314
死亡・失踪	1,328	349	1,677
養子縁組	54	36	90
養子離縁	24	11	35
国籍の得喪・留保	5	15	20
本籍表示の変更	238	293	531
上記以外で氏・名の変更が生じるもの	268	136	404
上記以外で身分に変更が生じるもの	19	9	28
訂正・追完	91	8	99
不受理申出	16	12	28
その他	2	3	5
計	3,460	2,274	5,734

(3) 戸籍事務処理状況

区分	件数
新戸籍編製	824 件
戸籍全部消除	1,042
通知違反	8
その他	1
計	1,875

(4) 人口動態調査票作成状況

区分	件数
出生	931 件
死亡	1,602
死産	23
婚姻	645
離婚	202
計	3,403

(注) 人口動態調査令(昭和21年勅令第447号)に基づき保健所へ提出。伊勢市総数

(5) 相続税法による死亡通知件数 1,602 件

(注) 相続税法(昭和25年法律第73号)第58条に基づき税務署へ通知。伊勢市総数

(6) 埋火葬許可状況

区分	大人	小人	胎児	計
埋火葬	1,205 件	0 件	17 件	1,222 件

(7) 民刑事事項等処理状況

区 分	件 数
犯罪関係通知	232 件
民事関係通知	28
身元事項照会	2,486
計	2,746

(注) 伊勢市総数

(8) 伊勢市版出生届・婚姻届取扱件数 (注) 伊勢市総数

出生届 15 件 ・ 婚姻届 207 件

3 証明関係

(1) 住民票関係の交付等の状況

区 分		有 料	無 料	計	収入金額	
住 民 票 の 写 し	本庁	31,599 件 (4,367)	4,874 件	36,473 件 (4,367)	6,319,800 円	
	支所	9,523	1	9,524	1,904,600	
広域交付住民票の写し	本庁	57	0	57	11,400	
	支所	1	0	1	200	
戸籍の附票の写し	本庁	1,832	4,207	6,039	366,400	
	支所	482	0	482	96,400	
住民票記載事項証明	本庁	874	45	919	174,800	
	支所	288	5	293	57,600	
住民基本台帳閲覧	本庁	88	7	95	17,600	
	支所	0	0	0	0	
印鑑登録証明	本庁	19,080 (7,447)	23	19,103 (7,447)	3,816,000	
	支所	8,003	27	8,030	1,600,600	
諸 証 明	身分証明	本庁	912	0	912	182,400
		支所	241	0	241	48,200
	そ の 他	本庁	291	6	297	58,200
		支所	58	2	60	11,600
マイ ナンバー	通知カード	本庁	740	25	765	370,000
		支所	118	1	119	59,000
	個人番号 カード	本庁	5	4,708	4,713	4,000
		支所	0	0	0	0
本 庁 計		55,478 (11,814)	13,895	69,373 (11,814)	11,320,600	
支 所 計		18,714	36	18,750	3,778,200	
合 計		74,192 (11,814)	13,931	88,123 (11,814)	15,098,800	

(注1) () は自動交付機による内数

(注2) 住民基本台帳閲覧は、閲覧用紙1枚(20人まで抽出可能)で1件

住民基本台帳の閲覧団体数 22 団体

(2) 戸籍謄抄本交付等の状況

区 分			件 数			収入金額
			有 料	無 料	計	
戸 籍	全部事項 (謄 本)	本庁	10,398 件	3,610 件	14,008 件	4,679,100 円
		支所	2,614	1	2,615	1,176,300
	個人事項 (抄 本)	本庁	2,894	211	3,105	1,302,300
		支所	1,168	0	1,168	525,600
	一部事項	本庁	33	3	36	11,550
		支所	15	1	16	5,250
	記載事項	本庁	0	0	0	0
		支所	0	0	0	0
	計	本庁	13,325	3,824	17,149	5,992,950
		支所	3,797	2	3,799	1,707,150
		計	17,122	3,826	20,948	7,700,100
	除 籍 改製原戸籍	全部事項 (謄 本)	本庁	9,390	6,747	16,137
支所			2,237	5	2,242	1,677,750
個人事項 (抄 本)		本庁	78	29	107	58,500
		支所	14	0	14	10,500
一部事項		本庁	0	0	0	0
		支所	0	0	0	0
記載事項		本庁	0	0	0	0
		支所	0	0	0	0
計		本庁	9,468	6,776	16,244	7,101,000
		支所	2,251	5	2,256	1,688,250
		計	11,719	6,781	18,500	8,789,250
受 理 証 明 等		本庁	461 (6)	0	461 (6)	167,650 (8,400)
		支所	11 (0)	0	11 (0)	3,850 (0)
届書記載事項証明		本庁	27	1	28	9,450
		支所	3	0	3	1,050
閱 覧		本庁	0	0	0	0
		支所	0	0	0	0
本 庁 計			23,281 (6)	10,601	33,882 (6)	13,271,050 (8,400)
支 所 計			6,062 (0)	7	6,069 (0)	3,400,300 (0)
合 計			29,343 (6)	10,608	39,951 (6)	16,671,350 (8,400)

(注) () は特別受理証明書(上質紙使用)の内数

(3) 郵送請求処理件数

区 分	有 料	無 料	返 戻	取 扱 件 数
戸 籍 関 係 証 明	(7,756)件	(4,647)件	641 件	22,956 件
住 民 票 関 係 証 明	(5,073)	(4,445)		
諸証明関係(身分証明等)	(389)	(5)		
計	(13,218)	(9,097)		

(注) () は「(1) 住民票関係の交付等の状況」及び「(2) 戸籍謄抄本交付等の状況」の内数

(4) 電子証明書の発行状況(個人番号カードへの記録分)

有 料	無 料	計	金 額
3 件	4,574 件	4,577 件	600 円

4 印鑑登録関係

(1) 印鑑登録数(平成29年3月31日現在) 86,866件(伊勢市総数)

(2) 印鑑登録事務処理状況(伊勢市総数)

区 分		件 数
増	登 録	4,186 件
	そ の 他	0
	計	4,186
減	廃 止	244
	亡 失	1,422
	死 亡	1,393
	転 出	1,256
	そ の 他	172
	計	4,487

5 支援措置関係

(1) 住民基本台帳事務における支援措置者数(平成29年3月31日現在)

ドメスティック・バイオレンス等の被害者の保護のための措置として、住民基本台帳法による住民票発行抑止及び戸籍の附票発行抑止を行った。

区 分	申 出 者	併せて支援を求める者	合 計
当市での申出受理	35 人	45 人	80 人
他市からの支援要請	50	41	91
計	85	86	171

6 特別永住者関係

(1) 特別永住者事務状況（伊勢市総数）

異 動 事 由	件 数	異 動 事 由	件 数
許 可	2 件	再 交 付（交 換 希 望）	0 件
証 交 付（法 施 行 前 未 取 得）	0	再 交 付（紛 失）	0
証 交 付（切 替）	1	有 効 期 間 更 新	13
再 交 付（汚 損 等）	0	記 載 事 項 変 更	0

7 住居表示事務

住居番号の申請を受け、実地調査を行うなどして住居番号を付定し、それぞれの申請者へ通知した。

住 居	事 務 所	事 業 所 等	計
83 件	1 件	10 件	94 件

8 自衛官募集事務

自衛隊三重地方連絡部伊勢募集事務所長から依頼を受け、懸垂幕掲示、ホームページ、広報いせ、文字放送を通じての広報など、新規隊員募集の事務補助を行った。

なお、市内から 15 名（陸上自衛隊 9 名、海上自衛隊 4 名、航空自衛隊 2 名）の入隊者があり、防衛大学校に 1 名が入校した。

9 伊勢市戸籍住民関係窓口業務等委託

安定した市民サービス及び民間事業者の技術と創意工夫を活用したより一層快適な市民サービスを提供するため、窓口業務等を民間事業者に委託した。

平成 28 年 5 月に窓口来庁者 768 名に対してアンケートを実施した。アンケート結果は、「窓口サービスの全体的な評価」について、「満足」又は「ほぼ満足」と回答した方が全体の 98.0%であり、来庁者の評価が良好であることが確認された。

(1) 業務内容

- ・ 証明書交付請求の受付
- ・ 証明書の発行・交付
- ・ 戸籍届出（出生・死亡・婚姻・離婚等）の受付・入力業務
- ・ 住民異動届の受付・入力業務 等

(2) 履行期間 平成 27 年 1 月 1 日から平成 29 年 12 月 31 日（3 年間）
（契約締結日 平成 26 年 7 月 31 日）

(3) 契約金額 159,192,000 円（税抜額）
（うち平成 28 年度分 53,064,000 円（税抜額））

(4) 委託業者 アール・オー・エス中部株式会社（名古屋市中村区名駅一丁目 1 番 1 号）

○ 支所関係

1 住民関係・戸籍関係

(1) 住民票関係・戸籍謄抄本等の交付状況

区 分	神社支所	大湊支所	浜郷支所	宮本支所	豊浜支所
戸 籍	(1,006)件 576,500 円	(460)件 243,300 円	(940)件 533,300 円	(509)件 284,450 円	(740)件 419,700 円
住民基本台帳 関 係	(1,541) 307,600	(791) 158,200	(1,939) 387,800	(1,073) 214,600	(1,154) 230,800
印 鑑 証 明	(1,095) 215,800	(549) 109,800	(1,399) 279,600	(773) 154,600	(1,070) 213,200
諸 証 明	(60) 12,000	(20) 4,000	(43) 8,200	(34) 6,800	(42) 8,400
マイナンバー (通知カード)	(31) 15,500	(13) 6,500	(26) 12,500	(9) 4,500	(19) 9,500
計	(3,733) 1,127,400	(1,833) 521,800	(4,347) 1,221,400	(2,398) 664,950	(3,025) 881,600

区 分	北浜支所	城田支所	四郷支所	沼木支所	合 計
戸 籍	(832)件 465,300 円	(753)件 418,800 円	(578)件 322,700 円	(251)件 136,250 円	(6,069)件 3,400,300 円
住民基本台帳 関 係	(1,247) 249,200	(1,300) 259,800	(850) 169,800	(405) 81,000	(10,300) 2,058,800
印 鑑 証 明	(1,093) 218,600	(952) 190,200	(681) 135,400	(418) 83,400	(8,030) 1,600,600
諸 証 明	(32) 6,400	(31) 6,200	(24) 4,800	(15) 3,000	(301) 59,800
マイナンバー (通知カード)	(11) 5,500	(3) 1,500	(6) 3,000	(1) 500	(119) 59,000
計	(3,215) 945,000	(3,039) 876,500	(2,139) 635,700	(1,090) 304,150	(24,819) 7,178,500

(注) 戸籍住民係中の3証明関係「(1)住民票関係の交付等の状況」及び「(2)戸籍謄抄本
交付等の状況」の内数

(2) その他の業務

市役所各課の業務、自治会との連絡調整業務、資源回収ステーション業務、図書業務その他の
の受付業務等の多岐に渡る業務を行い、市街地周辺の住民の利便性とサービス向上を図った。

人 権 政 策 課

○ 人権施策推進事業

1 伊勢市人権施策推進協議会

人権尊重の理念に関する市民相互の理解を深めるため、総合的かつ計画的な施策の推進を図ることを目的に関係官庁や市民団体等の代表で平成14年7月11日に設立した「伊勢市人権施策推進協議会」により、官民一体となって、様々な人権問題の解決に向けた取組みを実施している。

開催日	事業名	事業内容	備考
28. 6. 29	第1回幹事会	総会への提出議案等協議	
7. 19	総会	平成27年度事業報告・決算報告、 平成28年度事業計画（案）・予算（案）の承認 場 所 市役所本館4-5会議室	
8. 1 ~12. 11	人権尊重啓発 ポスター 標語募集事業	ポスター募集事業： 市内小中学校児童生徒から262点の応募 10月4日、10月21日ポスター審査 （市長賞9点、会長賞20点、奨励賞30点選出） 標語募集事業： 市内に在住または通勤通学する15歳以上の方 （中学生を除く）から7点の応募 11月7日、第1回委員会において標語審査 （市長賞1点、会長賞1点選出） 作品展示 11月11日～11月17日 伊勢市防災センター 11月18日～11月24日 ピアゴ上地店 11月25日～12月 1日 伊勢図書館 12月 2日～12月 8日 伊勢ララパーク 12月11日 ハートプラザみそので表彰式	広報いせ 7月15日号にて 公募
8. 15	第1回 人権セミナー	演 題「原爆被爆体験証言」 講 師 川本 省三 さん （広島平和記念資料館 ピースボランティア） 場 所 御菌公民館講堂	参加者50名
10. 15	第2回 人権セミナー	演 題「性別って二つだけ？、、、知らないでは 済まされないLGBT」 講 師 山口 颯一 さん （一般社団法人 ELLY 代表） 場 所 御菌公民館講堂	参加者41名
11. 1	第2回幹事会	委員会への提出議案等協議	
11. 7	第1回委員会	人権尊重啓発ポスター・標語募集事業、 人権セミナー及び人権講演会、街頭啓発について 市職員意識調査について 場 所 市役所本館4-5会議室	

11. 11 ～11. 25	人権啓発パネル 展	11月11日～11月18日まで市役所本館 市民ホール・二見総合支所にて開催 11月19日～11月25日まで小俣総合支所・ 御菌総合支所にて開催	
11. 11 ～12. 10	人権強調月間	市役所本館・小俣総合支所に懸垂幕の掲示 市役所本館・各総合支所にのぼり旗の掲示	
11. 24 ～12. 9	人権週間催し 告知等	広報いせ、伊勢市ホームページへの掲載 文字放送、行政チャンネル放送にて催しの告知	
12. 5	街頭啓発	人権週間にあわせ、市民の人権尊重の意識高揚を 目的に、伊勢市人権施策推進協議会委員による啓 発冊子・物品の配布による啓発活動を実施 場 所 ぎゅーとら（S Cハイジー・小俣店） イオン伊勢店 イオンタウン伊勢ララパーク みそのショッピングセンター バローミタス伊勢店 ホームセンターバローミタス伊勢店 プライスカット伊勢二見店	参加者35名 配布数1,050個
12. 11	人権講演会	講演会「戦場の現場から祈りを捧ぐ～命の大切さ 互いを愛し、敬いあうこと～」 講 師 渡部 陽一 さん （戦場カメラマン/ジャーナリスト） 場 所 ハートプラザみその 多目的ホール	参加者400名
12. 13	第3回 人権セミナー	演 題「インターネット人権ソーシャルウォッチ ャー講座」 講 師 松村 元樹 さん （公益在団法人反差別・人権研究所みえ） 場 所 御菌公民館講堂	参加者37名
29. 2. 17	第4回 人権セミナー	演 題「よき日のために～人の世に熱と光を～」 講 師 岸本 康孝 さん （奈良県御所市教育委員会 指導主事） 場 所 市役所本館4-5会議室	参加者40名
2. 18	人権イベント	「第2回ISE HUMANRIGHTS MOVIE JAM（いせ人権映 画祭）」 場 所 ハートプラザみその 多目的ホール	参加者270名
3. 21	第5回 人権セミナー	演 題「あなたがおしえてくれたこと」 講 師 西川 恒夫 さん （西川恒夫withからあげ） 場 所 ハートプラザみその 多目的ホール	参加者26名
3. 24	第3回幹事会	委員会への提出議案等協議	

3. 28	委員会	平成28年度事業（見込）及び決算（見込）報告 平成29年度事業計画（案）及び予算（案） 規約改正について、市職員意識調査について 場 所 市役所本館4-5会議室	
随 時	啓発冊子発行	人権ハンドブック№18「L G B T・性的少数者」	1,000部作成
随 時	啓発用物品	啓発用手提げ袋	600袋作成

○ 人権啓発推進事業

市民一人ひとりが自らの人権意識を高め、すべての人々の人権が守られる心豊かな明るく住みよい地域社会を築いていくことを目的に、次のとおり啓発活動を推進した。

1 各種広報、啓発事業

広 報 啓 発 事 業	内 容	備 考
広報いせ人権シリーズ掲載	人権尊重の理念の普及とその理解を深めてもらうことを目的に、様々な人権問題をテーマに取り上げ、市民に人権について考える機会を提供した。	毎月15日号掲載
地域人権啓発紙の掲載	市民館・教育集会所・児童センター等が作成する地域人権啓発紙への記事提供及び編集。広報いせ人権シリーズ同様、様々な人権問題をテーマとした記事や施設の活動状況を掲載して、地域住民に人権について考える機会を提供した。	地域人権啓発紙 2紙 毎月発行
人権週間啓発パンフレット及び啓発物品の作成	人権週間をPRし、人権の大切さを広く市民に訴えるため、啓発パンフレットを作成し、人権尊重宣言都市啓発用物品と合わせて、街頭啓発、企業啓発、関係機関窓口、講演会等で配布した。	パンフレット 2,900枚 啓発物品（コンパクトミラー） 3,500個
人権啓発パンフレット等の作成	市民の人権意識の高揚を図るため、人権13課題を簡潔にまとめた啓発用パンフレットを作成し、街頭啓発等で配布した。	パンフレット 3,700枚
人権を考える市民の集い	7月29日、落語家桂才賀さんを講師に迎え、「子どもを叱れない大人たちへ ～少年院面接委員が語る現代青少年の心～」をテーマに講演会を開催した。	いせトピア 多目的ホール 参加者 350名
人権学習リーフレットの作成	「職場におけるハラスメント～すべての人が快適に働くために～」、「性の多様性について考えよう～自分らしく生きるために～」をテーマにしたリーフレットvol. 23、24を発行した。	リーフレット 各 1,300部
差別をなくす強調月間での展示及び懸垂幕、のぼりの掲出	市役所本館1階市民ホール及び各総合支所にて人権パネル展を開催。 市役所本館・小俣総合支所に懸垂幕の掲示 市役所本館・各総合支所にのぼり旗の掲示	

企業啓発	差別をなくす強調月間にあわせ、市内企業を訪問し、啓発活動を実施 【実施企業】 横浜ゴム(株)三重工場、(株)赤福本店、 (株)ぎゅーとら本社、日本特殊陶業(株)、 シンフォニアエンジニアリング(株)、 (株)百五銀行宮川支店、(株)三水、(株)白清舎、 石川商工(株)、伊勢米穀企業組合、 船谷建設(株)、(株)山野建設、(株)ゴーリキ、 (株)ホーペック、廣瀬精工(株)、 社会福祉法人邦栄会、医療法人田中病院	17社訪問 啓発物品、パンフ レット配布数 560個
「第2回ISE HUMANRIGHTS MOVIE JAM (いせ人権映画祭)」開催	人権をテーマとした自主制作映像作品を県内の高校・大学をはじめ幅広い年齢層から募集し上映することにより映像制作・鑑賞を通して人権に対する意識の啓発と人権感覚の向上をはかることを目的とし、コメンテーターに瀬木直貴監督を招き、9作品の上映を2月18日に行なった。	ハートプラザみその多目的ホール 参加者 270名

2 人権相談

様々な人権問題についての相談を随時受け付け、相談者自らが主体的に解決できるよう情報の提供や助言を行った。

○ 隣保館運営事業

周辺地域を含めた地域社会全体の中で、福祉の向上や人権啓発、住民交流の拠点となる開かれたコミュニティセンターとして、生活上の各種相談や成人学習講座、福祉介護講座等の諸事業を実施するとともに、これらの活動を通じ日常生活に根ざした啓発活動を行い、住民の交流促進と福祉の向上に努めた。

1 事業費

	総事業費	補助基準額	財源内訳	
			県補助金	市費
隣保館運営事業費	25,989,861円	23,405,459円	17,578,000円	8,411,861円

2 事業内容

事業区分		朝熊市民館		大久保市民館		黒瀬市民館		計	
		件数	人員	件数	人員	件数	人員	件数	人員
相 談 事 業	人権相談	0	0	0	0	0	0	0	0
	職業相談	0	0	4	4	0	0	4	4
	教育相談	0	0	0	0	0	0	0	0
	福祉相談	0	0	2	2	1	1	3	3
	生活相談	3	3	2	2	2	2	7	7
	健康相談	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他相談	0	0	2	2	1	1	3	3

講座	福祉介護講座	件 4	人 75	件 -	人 -	件 4	人 111	件 8	人 186
	成人学習講座	7	159	-	-	6	273	13	432

成人学習講座詳細						
項目 館・回	開催日	場 所	テーマ	講 師	参加 人数	
朝熊市民館・ 大久保市民館	第1回	28. 6. 27	楠部町公民館	ステップワンのあゆみ	生活介護事業所 ステップワン 中嶋 伸子 さん 上田 隆士 さん	人 34
	第2回	28. 7. 22	中村町公民館	外国人の人権 ～多文化共生の社会を めざして～	伊勢市市民交流課 中北 洋平 さん	23
	第3回	28. 11. 12	緑が丘公民館	考えよう一人ひとりの 人権	元浜郷小学校長 山崎 明彦 さん	21
	第4回	28. 11. 17	一字田町公民館	共に生きる	前伊勢市教育長 宮崎 吉博 さん	26
	第5回	28. 12. 8	鹿海町公民館	防ごう子どもへの虐待・ 守ろう子どもの人権	伊勢市こども家庭 相談センター 西川 善大 さん	19
	第6回	29. 2. 24	朝熊市民館	人権トーク&ライブ ～心豊かなまちづくり～	元修道小学校長 西川 恒夫 さん with からあげ	15
	第7回	29. 3. 11	立命館大学 国際 平和ミュージアム	国際平和ミュージアム の見学	—	21
黒瀬市民館	第1回	28. 6. 17	黒瀬市民館	「障害者差別解消法」つ て、なあに？	前伊勢市教育長 宮崎 吉博 さん	33
	第2回	28. 7. 13	一色町公民館	陽のあたる道を ～トーク&ライブ～	元修道小学校長 西川 恒夫 さん with からあげ	93
	第3回	28. 9. 30	竹ヶ鼻町公民館	子どもたちの生き生き とした笑顔のために ～子どもに寄り添い、 心の声に耳を傾けて～	今一色小学校長 山本 究 さん	51
	第4回	28. 10. 12	通町公民館	歯科所見による 身元確認の有用性 ～津波被害者の検視・ 検案から～	くまがい歯科 医院長 熊谷 渉 さん	47
	第5回	28. 11. 2	小木町公民館	Appreciation for cultural diversity is essential for our coexistence. (いろいろな文化があ ることを知るの、み んなが一緒に生きてい くのにとっても大切)	伊勢市小中学校 ALT カルンバ・ブッチ さん	27

	第6回	29. 3. 4	四日市市立博物館 四日市公害と環境 未来館	博物館等の見学	—	人 22
--	-----	----------	-----------------------------	---------	---	---------

3 工事関係

施行場所	工 事 名	工 事 概 要	金 額	着 工	完 工
中 須 町 地 内	(注) 中須地区集会所 浄化槽取替工事	浄化槽取替工事一式	円 1,209,600	28. 7. 1	28. 8. 9

(注) 下水道建設課施行

○ 非核平和推進事業

1 非核・平和第38回空襲展の開催

市民の空襲の記録を収集し、展示することによって、核兵器の廃絶及び軍備縮小並びに平和を広く訴えるため、空襲展実行委員会に参画し、8月20日・21日に、ハートプラザみそのにおいて、非核・平和第38回空襲展を開催した。

当課の企画として、折り鶴コーナーを実施した。

主な催し物・・・映画上映、平和紙芝居、すいとん汁試食コーナーなど

主な展示物・・・伊勢空襲の記録・写真、三重の戦跡パネル、焼夷弾、戦時中の生活用品など

2 原爆被災ポスター展

原爆被災の実相を伝え、戦争や核兵器のない未来をつくることをめざして、広く市民に平和の尊さを訴える原爆被災ポスター展を7月22日から8月2日まで市役所本館1階市民ホールと二見総合支所で、8月3日から8月12日まで小俣総合支所と御菌総合支所で開催した。

3 非核平和都市宣言折り鶴

市内各市立中学校の生徒代表による広島平和記念式典への参加にあたって、各校生徒が平和への祈りを込めて作る千羽鶴用に、伊勢市非核平和都市宣言文を印刷した折り紙用紙を提供した。

(12校×1,200枚)

また、原爆被災ポスター展、非核・平和第38回空襲展の折り鶴コーナーでも活用したほか、市内図書館・いせトピアにも配布した。

4 日本非核宣言自治体協議会

日本非核宣言自治体協議会では、核廃絶を求める内容の決議を行った自治体が連携し、平和関連事業を実施、また、核実験を行った国に向けて抗議文書を送るなど、核兵器廃絶と恒久平和の実現に向けて様々な事業を行っている。当市においても、協議会の趣旨に賛同し、協議会に加盟、非核・平和推進に向け、活動に協力している。

(非核宣言自治体総数1,619自治体、内、協議会会員自治体数323自治体：平成28年11月現在)

5 平和首長会議

平和首長会議は、世界の都市が緊密な連携を築くことによって、核兵器廃絶の市民意識を国際

的な規模で喚起、核兵器廃絶を実現にむけ活動するほか、人類の共存を脅かす諸問題の解決、環境保護等、世界恒久平和の実現に寄与することを目的とし、この趣旨に賛同する都市（自治体）で構成された機構である。

（平和首長会議加盟総数 世界 162 か国・地域 7,295 都市（内、日本国内 1,668 都市）：平成 29 年 5 月現在）

6 ヒロシマ・ナガサキ原爆展

伊勢志摩サミットの開催に伴い、サミット参加関係者や市民等に原爆による被害の実相とその悲惨さを伝え、核兵器廃絶と世界の恒久平和を祈念するため、5月22日から29日まで伊勢市観光文化会館において「ヒロシマ・ナガサキ原爆展」を開催した。主催は広島市・長崎市で、三重県と伊勢市は共催開催した。広島市の被爆体験者による体験証言や、長崎市の朗読ボランティアによる被爆体験記の朗読会も実施した。サミット関係者としては、EU高官の来場があった。

（来場者総数 期間中延べ 3,290 人 内、被爆体験証言及び朗読会参加者数 298 人）

7 原爆被爆樹木二世苗木植樹式

「ヒロシマ・ナガサキ原爆展」オープニングセレモニーにおいて、平和首長会議が実施する被爆樹木二世苗木の配付事業により広島市・長崎市から授与された、原爆被爆樹木二世苗木のアオギリ（広島市）・クスノキ（長崎市）の植樹式を8月15日終戦記念日に伊勢フットボールヴィレッジにおいて開催し、伊勢市の平和のシンボルとして育成している。

8 「国際平和デー」イベント

国連が定めた『国際平和デー』に合わせて、9月21日（水）正午から、「鐘の音とともに祈りを」と題して市内の寺院や教会等の協力を得て鐘を鳴らし、平和を感謝し、恒久平和を祈念する取り組みを実施した。（寺院や教会等104か所に参加依頼）

○ 人権学習事業

市民が人権尊重の精神をもとに人権問題を正しく認識し、自らの課題としてその解決に向えるよう広報啓発活動の積極的な推進に努めた。

1 小学校区別人権・同和教育推進連絡協議会事業

小学校区を単位として、人権教育推進のための協議会を組織し、自主的な啓発活動を進めている。

市内 23 の協議会は各町の自治会長（区長）、民生委員、人権擁護委員、学校長などが委員となり、講演会、人権展、啓発紙の発行等の活動を行った。3月には全協議会代表者の参加による交流会を行った。

2 第 11 回伊勢市人権を考える市民の集い

人権問題の正しい理解と認識を広めるため、平成28年7月29日、桂才賀さん（落語家）を講師に招き、「子どもを叱れない大人たちへ ～少年院面接委員が語る現代青少年の心～」をテーマに、いせトピアで講演会を開催し、350人の参加を得た。

3 伊勢市人権講演会

人権に対する正しい理解と認識を広めるため、平成28年12月11日、渡部陽一さん（戦場カメラマン／ジャーナリスト）を講師に招き、「戦場の現場から祈りを捧ぐ ～命の大切さ 互いを愛し、敬いあうこと～」をテーマに、ハートプラザみそので講演会を開催し、400人の参加を得た。

4 人権啓発講座

市内の小中学校の保護者及び一般を対象とし、人権に対する知識理解や人権感覚を身に付けた人材を育成することにより、その受講者が家庭はもとより各小中学校や各地域の人権推進の担い手となり、住みよい社会を築くことを目的として4回の講座を開催した。4回で延べ189人の参加があった。各回の内容は下記のとおり。

	開催日	場所	テーマ	講師	参加人数
第1回	28. 8. 7	御菌公民館	子どもの人権	大阪成蹊大学教授 園田 雅春さん	人 56
第2回	28. 11. 6	御菌公民館	同和問題	御所市教育委員会 岸本 康孝さん	47
第3回	28. 12. 18	御菌公民館	犯罪被害者の人権	鈴鹿大学教授 仲 律子さん	40
第4回	29. 1. 22	御菌公民館	インターネットと人権	三重県警察本部 飯田 真琴さん	46

環 境 課

○ 環境全般

1 第2期伊勢市環境基本計画

環境に関わる各計画の最上位計画にあたる「第2期伊勢市環境基本計画」にて掲げた“めざす姿”の実現のため、施策の取組状況や9つの重点事業の実績などの進捗状況について、伊勢市環境審議会へ報告し、意見をいただいた。

【環境審議会】

伊勢市環境基本条例第11条の規定に基づき設置

構 成：公共的団体等に所属する者でその団体の推薦を得た者8人

学識経験を有する者4人

その他市長が必要と認める者5人

会 長：朴 恵淑（三重大学人文学部教授）

副会長：中松 豊（皇學館大学教育学部教授）

2 環境管理システムの推進

平成20年度からISO14001の規格によらない環境管理システムを運用している。

事務活動に伴う使用量等として設定している事務用紙使用量、可燃ごみ排出量、電力使用量、公用車燃料使用量（ガソリン・軽油）の4項目について、前年度と比較して、可燃ごみ排出量、公用車燃料使用量（ガソリン）は削減されたが、事務用紙使用量、電力使用量、公用車燃料使用量（軽油）は増加した。

3 環境啓発・環境教育の推進

（1）環境フェア開催事業（伊勢志摩国立公園指定70周年記念）

市民の皆様へ、体験などを通して、環境の状況や取り組み等を知っていただき、環境意識の向上や市の環境施策への理解と協力を得ることを目的とし、平成28年10月9日（日）に、三重県営サンアリーナ（メインアリーナ、サブアリーナ及び屋外広場）において、伊勢市環境フェアを開催した。

平成28年度においては、伊勢志摩国立公園指定70周年記念事業として、伊勢志摩国立公園指定70周年事業実行委員会に出展いただくとともに、まちづくり協議会や多数の地域事業者等による取組紹介展示や体験企画などの出展を得て開催し、約15,000人に来場いただいた。

なお、2016福祉フェスティバル事業実行委員会（勤労者地域づくり等参画支援事業実行委員会）主催の「2016福祉フェスティバル 勤労者ゆとりT・I・M・E you・ゆう・遊ing」と同時開催。

(2) 伊勢市環境会議実施事業

市の環境保全・環境意識の向上を目指し、各会員が知恵を出し合い、協力して取り組みを行った。

実施日	事業名	概要	備考
28. 5. 7	ごみゼロ早朝清掃	ごみゼロを目指して市民一人ひとりがごみ問題に対する意識を高めるきっかけとするため実施した。	伊勢志摩サミット開催に伴うクリーンアップ活動に合わせて実施。
28. 5. 16 28. 6. 23 28. 6. 24	環境出前講座 (小学生対象)	子どもたちが環境について学び、家庭での取組に繋げることができるよう、体験講座や啓発講座を実施した。	早修小4年生 11人 北浜小6年生 25人 早修小6年生 11人
28. 6. 6	身近な水環境の全国一斉調査	水環境の全国一斉調査の一環として、勢田川の水質調査を行った。	検査結果 COD 6mg/ℓ
28. 6. 20 28. 11. 14	勢田川浄化実験事業 (EM団子による水質浄化実験)	河川浄化を目的に、微生物資材をヘドロに投入し、ヘドロ浄化効果を経過観察した。	参加者 有緝小3年生 90人
28. 6. 24 28. 7. 5 28. 7. 7 28. 7. 15 28. 8. 3 28. 8. 30 28. 10. 26 28. 11. 9	環境出前講座 (園児対象)	保育所・幼稚園の園児を対象に楽しみながら環境について興味を持ってもらえるよう、会員が紙芝居を用いて、出前講座を実施した。	五峰保育園 園児27人 しごうこども園 園児68人 あけぼの園 園児24人 村松保育園 園児29人 有滝保育園 園児14人 御菌第一保育園 園児27人 御菌第二保育園 園児16人 大湊保育園 園児37人
28. 7. 3	勢田川七夕大そうじ	勢田川の浄化と、河川美化の意識啓発のため、清掃を実施した。	参加者 約2,500人
28. 7. 28 29. 3. 27	エコ・クッキング教室	東邦ガス株式会社にご協力いただき、生ごみを出さない、または、汚れた生活排水を流さない調理方法について実習した。	参加者 28. 7. 28 24人 29. 3. 27 24人
28. 8. 7	子どもわくわく体験フェスティバル	特定非営利法人まなびの広場が主催するイベントにて、ごみ分別クイズを実施した。	参加者 約1,600人
28. 8. 8	水生生物による水質調査	小学校児童向けに、水環境に親しむきっかけづくり、水質浄化意識の啓発を目的に、水生生物の生息状況による水質調査を実施した。	参加者 市内小学校児童 18人
28. 9. 1 ～ 9. 30	百五銀行ロビー展示	百五銀行伊勢支店のロビーにおいて活動写真等を展示した。	
28. 10. 9	環境フェア	三重県営サンアリーナにて、環境意識の啓発のため、イベントを開催した。	来場者 約15,000人

28.10.9	ごみゼロポスターコンクール	家庭でごみ問題について話し合うきっかけづくりとして、市内小中学校へ「3Rの推進」「ポイ捨て・不法投棄の防止」などをテーマに作品募集を行ない、環境フェアにおいて受賞者への表彰式を開催した。	受賞者 計66名 (応募作品数798作品)
28.12.11	みえ環境フェア	メッセウイング・みえにおいて、三重県地球温暖化防止活動推進センター主催により開催された、みえ環境フェアにアクリルたわしづくり体験と活動写真展示ブースを出展した。	来場者 約4,500人
29.2.24 29.3.14	勢田川浄化実験事業 (二枚貝による水質浄化実験)	二枚貝の持つ水質浄化能力を利用した勢田川の水質浄化実験を行うにあたり、小学生に二枚貝の生態を知ってもらうために出前講座を実施し、シジミを勢田川へ放流した。	参加者 明倫小4年生 55人

(3) 皇學館大学との連携事業

皇學館大学と市は、文化・教育・学術等の分野で相互に機能向上を図るとともに、地域の活性化と人材の育成を図ることを目的に、平成20年7月11日に連携協定を締結している。

環境分野における連携として、市内小学校において昆虫を活用した環境に関する理科の出前講座を実施し、また、平成28年8月7日に、いせトピアで開催された「子どもわくわく体験フェスティバル」、平成28年10月9日に、三重県営サンアリーナで開催された「伊勢市環境フェア」において昆虫を活用したブースを出展いただいた。平成29年1月12日には、今年度の連携と平成29年度以降の連携についての意見交換会を行った。

【出前講座実績】

4校6クラス＋1校（全学年6クラス）

(4) 事業者における環境教育

事業者においては、事業者自らの企画による環境教育等が社会貢献活動として実践されており、各事業者が有する人材・学習教材となりうる資材の提供等の協力をいただくことで学習環境の充実を図るため、平成23年9月30日に京セラ株式会社三重伊勢工場及び中部電力株式会社、平成27年1月26日に株式会社第三銀行、平成28年1月22日に横浜ゴム株式会社三重工場と環境教育に関する協定書を締結しており、市内の小中学校向けに環境出前講座を実施していただくなど、ご協力をいただいた。

【出前講座実績】

京セラ株式会社三重伊勢工場	9校15クラス
中部電力株式会社	2校3クラス
株式会社第三銀行	1校1クラス
横浜ゴム株式会社三重工場	1校1クラス

【植樹体験実績】

横浜ゴム株式会社三重工場 1校2クラス（2学年）

○ 地球温暖化防止対策の推進

1 太陽光発電普及促進事業

地球温暖化防止対策として、比較的取り組みやすい太陽光発電システム設備の設置を促進するため、設置に対する補助（6万円/件）を行った。

なお、平成28年度中に工事着手したが、年度内に工事が完了しなかった26件については、繰越対応とした。

	補助額	交付件数	交付額合計
平成27年度からの繰越分	円/件 60,000	件 16	円 960,000
平成28年度事業	60,000	66	3,960,000
計	—	82	4,920,000

	補助額	交付件数	交付額合計
平成29年度への繰越分	円/件 60,000	件 26	円 1,560,000

2 エコドライブ講習会の実施

地球温暖化対策として、自動車から排出される二酸化炭素を減らすことが課題であり、そのためには、クリーンエネルギー自動車の普及とともに、自動車の使用方法の対策も重要であることから、燃費向上や安全運転の効果が期待できるエコドライブの普及を図るため、JAFと連携し講習会を開催した。

職員対象・・・平成28年6月8日（水） 14人
平成28年8月24日（水） 15人
平成28年10月19日（水） 15人
市民対象・・・平成28年7月7日（木） 13人
平成28年8月24日（水） 3人（マイカー使用）
平成28年9月9日（金） 12人

3 電気自動車等を活用した伊勢市低炭素社会創造協議会の取り組み

多くの化石燃料に依存した暮らしから、省エネルギーでかつ豊かな低炭素社会での暮らしに移行していくため、電気自動車等を活用した移動手段の新たな使い方を検討し、取組を進めることで「低炭素で豊かに暮らせる伊勢」を創造することを目的として、三重県が取り組む「地域と共に創る電気自動車等を活用した低炭素社会モデル事業」の採択を受け、平成24年8月に、三重県と共同で「電気自動車等を活用した伊勢市低炭素社会創造協議会」（以下「協議会」という。）を設立した。

協議会は、行政、事業者、市民等の様々な参画者が将来像や目標を共有しながら、参画者自らが主体となり、市民だけでなく、伊勢市を訪れる人にとっても便利に移動できる低炭素社会の実現に向けて取り組むこととしている。その低炭素社会の創造に向けた取組を着実に進めていくため、平成 25 年 3 月に行動計画「おかげさま A c t i o n !」を策定し、啓発活動等に取り組んでいる。

(1) 一人乗り電気自動車コムスの活用

電気自動車等で観光できる環境づくりを進める実証事業のため、タイムズモビリティネットワークス株式会社の協力を得て、一人乗り電気自動車「コムス」のレンタル事業を平成 28 年 3 月 18 日から実施した。市や事業者等による情報発信や観光ドライブコースの提案に加え、平成 28 年 10 月 1 日からは、じゃらん net アフィリエイトへの掲載、また、アンケートにご協力いただいた方に特製木札と、コムスミニカー又は内宮前駐車場駐車券（500 円）をプレゼントするキャンペーンを展開したが、十分な利用が得られなかった。

このため、現時点では、一人乗り車両によるレンタカー事業の展開は困難との判断から、平成 29 年 3 月 31 日をもって実証事業を終了することとした。

また、市民・事業者・観光客等に協議会の取組や電気自動車を P R する為、観光協会で運用しているコムスに「伊勢まいりんくん」のキャラクターをメインとしたラッピングを実施した。

(2) 三重テレビ放送番組での P R 活動

電気自動車等で観光できる環境づくりをすすめるため、三重テレビの旅案内番組「ええじゃないか。」の中でコムスのレンタルキャンペーン、電気バスの P R 活動を行った。

(3) ニュースレターの発行

協議会の取組、電気自動車等のメリット及び便利な使い方等の情報をより多くの方に発信するため、協議会参画者である自動車メーカーの協力を得て、ニュースレターを発行した。

(4) 電気バスのラッピング更新

行動計画「おかげさま A c t i o n !」に基づき、三重交通株式会社が平成 26 年 3 月に導入・運行開始した電気バスについては、株式会社ポケモンの協力を得て「ポケットモンスター（ポケモン）」で人気の「ピカチュウ」（でんきタイプのポケモン）の車両外装ラッピングを施し「ピカチュウ電気バス」として運行していたが、情報発信効果の向上等のため、車両外装ラッピングの全面更新を行うとともに、車内天井・シート等にも装飾を行い「ポケモン電気バス」として運行を開始した。

・ピカチュウ電気バス運行終了 平成 29 年 2 月 26 日

・ポケモン電気バス運行開始 平成 29 年 3 月 15 日

(5) 啓発活動

市内等で開催されるイベントにて、電気自動車等の展示（給電デモ等）及び試乗会を行い、電気自動車等の普及啓発を行った。

実施日	事業名	概要	備考
28. 4. 24	アースデイ伊勢 2016	展示・給電デモ	
28. 4. 24	こども環境フォーラム in 伊勢・皇學館	展示・給電デモ	
28. 4. 29	第7回厚生ふれあいまつり	展示・給電デモ	
28. 6. 4 28. 6. 5	第34回伊勢楽市	展示・給電デモ・試乗会	来場者 28. 6. 4 約30,000人 28. 6. 5 約25,000人
28. 6. 21	高柳商店街夜店（環境の日）	展示・給電デモ	
28. 9. 25	二見エコかえるキャラバン	展示・給電デモ	
28.10. 9	伊勢市環境フェア	展示・給電デモ・試乗会	来場者約15,000人
28.11. 5 28.11. 6	第35回伊勢楽市	展示・給電デモ・試乗会	来場者 28.11. 5 約60,000人 28.11. 6 約50,000人
28.11.13	北浜地区防災イベント	展示・給電デモ	
28.12. 4	2016 中日三重お伊勢さんマラソン	日産リーフによる伴走	
28.12.11	みえ環境フェア 2016	展示・給電デモ	
29. 2. 19	美し国市町対抗駅伝 2016	minicab MiEV（カメラ車）、e-NV200（スタッフ車）の伴走	

○ 生活排水対策の推進

1 合併処理浄化槽設置の促進

(1) 浄化槽設置整備事業補助金

生活排水対策を目的として合併処理浄化槽設置者に対し補助を行った。下水道認可区域外においては、合併処理浄化槽設置を一層促進するため、配管費用、単独処理浄化槽の撤去費用の補助を必要に応じて上乗せしている。下水道事業認可区域内においては、市単独補助を行った。

【下水道認可区域外】

浄化槽設置（新築及び単独浄化槽・くみ取りからの転換）補助の人槽別内訳

区分 人槽	新 築			単独処理浄化槽・くみ取りからの 転換			計	
	補助金 限度額	交付 基数	交付 額計	補助金 限度額	交付 基数	交付 額計	交付 基数	交付 額計
5	千円/件 168	基 137	千円 23,016	千円/件 332	基 27	千円 8,964	基 164	千円 31,980
7	207	51	10,557	414	61	25,254	112	35,811
10-50	276	6	1,656	548	1	548	7	2,204
計	—	194	35,229	—	89	34,766	283	69,995

単独処理浄化槽・くみ取りからの転換（89基）のうち、配管、単独処理浄化槽撤去費用補助の内訳

区 分	単独浄化槽・くみ取りからの転換		
	補助金限度額	交付基数	交付額計
配管	千円/件 60	基 89	千円 5,340
単独処理浄化槽の撤去	90	54	4,860
計	—	—	10,200

※単独処理浄化槽の撤去 54 件は配管と併せて補助

【下水道認可区域内】

浄化槽設置補助の人槽別内訳

区 分	新築及び単独浄化槽・くみ取りからの転換		
	補助金限度額	交付基数	交付額計
人槽	千円/件	基	千円
5	110	29	3,190
7	138	15	2,070
10	182	0	0
計	—	44	5,260

※下水道認可区域内においては、配管、単独浄化槽の撤去費用及び11人槽以上の浄化槽は補助対象外

(2) 共同汚水処理施設修繕工事補助金

共同汚水処理施設の適正な維持管理を推進するため、住民で組織する団体が管理し、設置後7年以上が経過した共同汚水処理施設の修繕工事(当該修繕工事に要する経費が1件当たり30万円以上)を実施した管理団体に対し補助を行った。

補助件数：4件 補助金額：3,383,640円

○ 公害対策事業

1 大気汚染調査

市内の大気汚染の状態を把握するため、三重県環境生活部が厚生中学校に設置(昭和63年3月から測定開始)している大気汚染常時監視測定局による二酸化硫黄、PM2.5、浮遊粒子状物質、オキシダント、窒素酸化物、炭化水素等の調査結果について、市ホームページにて公表した。また、PM2.5の注意喚起情報が三重県より発信された際は市ホームページにて注意喚起を行った。

2 水質調査

河川や海域の水質汚濁状態を把握するため、河川、幹線排水路を対象に水質調査を実施した。

(1) 水質調査実施状況

区 分	河 川	海 域	幹線排水路
調査対象	8	1	5
地点数	15	1	7
項目数	19	6	19
回数	4~12	4	4~12

(2) 主な河川のBOD経年変化

年 度	24	25	26	27	28	環境基準
姫之橋（勢田川）	mg/ℓ 3.7	mg/ℓ 3.8	mg/ℓ ※5.1	mg/ℓ 3.0	mg/ℓ 2.7	5 mg/ℓ以下
北新橋（勢田川）	※8.2	※6.6	※6.4	4.6	5.0	5 mg/ℓ以下
勢田大橋（勢田川）	※5.6	※6.8	※7.4	3.3	3.9	5 mg/ℓ以下
桧尻川合流点（勢田川）	※5.9	※6.9	※6.0	3.2	3.7	5 mg/ℓ以下
一色大橋（勢田川）	2.8	2.7	4.8	2.8	2.9	5 mg/ℓ以下
中部幹線（勢田川）	6.1	6.0	4.4	5.4	6.9	—
南部幹線（勢田川）	2.0	2.4	4.3	2.8	2.1	—
有滝橋（江川）	1.7	1.2	1.3	1.5	4.7	—
大堀川橋（大堀川）	1.8	2.2	4.7	1.7	2.5	—
野垣外橋（汁谷川）	1.9	1.3	1.7	1.8	1.0	—
鮫川	29.0	7.8	2.0	2.7	1.7	—

※は、環境基準オーバーを表す。数値は75%値

(3) 海域COD経年変化

年 度	24	25	26	27	28	環境基準
宇治山田港	0.6	0.5 未満	0.8	0.5 未満	1.2	3 mg/ℓ以下

※数値は75%値

3 騒音・振動調査

(1) 環境騒音・道路交通振動調査

市内における騒音及び振動の状態を把握するため、環境騒音・道路交通振動について測定した。

【調査実施状況】

区 分	一般環境騒音	道路交通騒音	道路交通振動
地 点 数	3	4	1
基準適合地点	3/3	4/4	1/1

(2) 自動車騒音常時監視に係る騒音調査及び面的評価業務

騒音規制法第18条第1項の規定に基づき、市内の主要幹線道路を対象に、自動車騒音の常時監視を実施した。

また、道路環境の各種施策へ反映を図る資料として、環境省環境管理状況局自動車騒音環境対策課が配布する「面的評価支援システム」を用いて、評価対象路線における環境基準の達成状況を調査した。

【騒音調査結果】

路 線 名	測定地点	時間区分	等価騒音レベル	環境基準
伊勢松阪線	御菌町高向	昼間	68	70
		夜間	60	65
伊勢二見線	黒瀬町	昼間	68	70
		夜間	60	65

宇治山田港伊勢市停車場線	船江3丁目	昼間	67	70
		夜間	60	65
伊勢小俣松阪線	小俣町相合	昼間	65	70
		夜間	57	65

4 悪臭

市内特定地点における悪臭の状態を把握するため臭気測定を実施した。平成28年度は1か所4地点各2回測定し、参考基準値の臭気指数15を上回る場所もあった。

5 公害苦情等処理状況

区 分		25年度	26年度	27年度	28年度
典型 7 公害	大気汚染	16	15	17	49
	水質汚濁	9	1	4	3
	土壌汚染	0	1	0	0
	騒音	10	7	3	3
	振動	0	0	0	0
	地盤沈下	0	0	0	0
	悪臭	9	4	8	1
小 計	44	28	32	56	
そ の 他	草刈り	75	69	67	109
	樹木剪定	32	26	54	29
	動物（犬猫等）	30	37	34	51
	空き家	18	29	22	15
	その他	4	11	14	16
小 計	159	172	191	220	
合 計		203	200	223	276

6 公害関係法令に基づく各種届出受理業務

生活環境を保全し、市民生活の健康保護のため、公害関係法令に基づき、事業活動を行う工場及び事業場、また特定建設作業に対する届出受理業務を行った。

【特定施設に関する設置等の届出】

区 分		設置届出数	廃止届出数
大気汚染防止法		4	4
水質汚濁防止法		5	7
騒音規制法		3	1
振動規制法		0	0
三重県生活環境 の保全に関する 条例関係	ばい煙	1	5
	粉じん	0	0
	騒音	3	0
	振動	0	0
揚水設備		1	0
ダイオキシン類対策特別措置法		0	0
計		17	17

【特定建設作業に関する届出】

区 分	法 律	条 例
騒 音	件 29	件 9
振 動	16	5
計	45	14

○ 衛生・美化関係

1 防疫

生活環境の保全を目的に、公共施設等において動力2兼機による煙霧消毒を4件実施した。また、希望する市民にハチ防護服貸出を58件実施した。

2 公衆浴場に対する支援

市内にある公衆浴場の確保を図るため、伊勢公衆浴場組合への支援策として、公衆浴場5か所に集客用の物品支援を行った。

実施日	物 品	金 額
28. 4. 25	トイレットペーパー 576 個 ボックスティッシュ 108 箱	円 69,588
28. 5. 9	トイレットペーパー 576 個 ボックスティッシュ 108 箱	69,588
28. 5. 16	トイレットペーパー 576 個 ボックスティッシュ 108 箱	69,588
計	—	208,764

○ 墓地関係

1 市営墓地管理

市営大世古墓地、大湊墓地及び小俣若山墓地について、効率的に管理するため、墓地管理システムで情報管理を行うとともに維持管理について、業務委託を行い墓地環境の整備を行った。

(1) 業務委託

施 行 場 所	委 託 名	委 託 概 要	金 額	着 手	完 了
伊 勢 市 営 大 世 古 墓 地	伊勢市営墓地管理 業務委託	墓地管理	円 168,480	28. 4. 1	29. 3. 31
大 世 古 3 丁 目 地 内	市営大世古墓地除 草業務委託	空き区画及び通路 の除草	500,000	28. 4. 1	29. 3. 31
伊 勢 市 営 大 湊 墓 地	伊勢市営墓地管理 業務委託	墓地管理	453,600	28. 4. 1	29. 3. 31
伊勢市営小俣若山 墓地及び納骨堂	伊勢市営小俣若山 墓地管理業務委託	墓地管理	421,873	28. 4. 1	29. 3. 31
伊 勢 市 役 所 環 境 課	墓地管理システム 運用保守業務委託	墓地管理システム の運用保守	466,560	28. 4. 1	29. 3. 31
計	5 件	—	2,010,513	—	—

(2) 賃借業務

賃借名	賃借期間	賃借料
墓地駐車場賃借料（小俣若山墓地）	28. 4. 1～29. 3. 31	240,000

(3) 新規貸付区画

墓地名	平成28年度 貸付区画数	残区画数
大世古墓地	7	29
大湊墓地	2	40
小俣若山墓地	5	0
計	14	69

※残区画数：平成29年3月末時点

2 墓地整備事業補助金

共同墓地の環境改善を図るため、自治会等が行った墓地整備事業に対し費用の一部を補助した。

区分	事業費	補助金額	備考
西之坂墓地	円 791,640	円 263,000	通路確保、樹木の伐採
今一色墓地	2,257,114	752,000	墓地焼香場取壊し、駐車場の整備、樹木の伐採
北山墓地	778,880	259,000	樹木の伐採
通町共同墓地	1,447,200	482,000	焼香屋根修繕及び塗装塗替工事、ごみ集積所改修工事、通路整備及び給水管設置工事
天神・小町塚墓地	2,436,912	812,000	通路舗装工事
一字田墓地	212,382	70,000	通路整備
一誉坊墓地	5,400,000	1,800,000	樹木の伐採
王中島墓地	832,250	277,000	塀改修
宮後町共同墓地	2,386,800	795,000	ブロック塀取壊し及びフェンス設置工事、線香点火ボックス新設工事
計	16,543,178	5,510,000	—

○ 犬・猫関係

1 狂犬病予防事務

狂犬病予防法に基づき畜犬登録及び狂犬病予防注射を実施し、飼い犬管理システムによる情報管理を行った。

区分	26年度	27年度	28年度
登録数	頭 8,398	頭 8,117	頭 8,061
新規登録件数	513	504	459
予防注射接種数	5,269	5,220	4,775
獣医師等	3,823	4,005	3,682
集合注射	1,446	1,215	1,093

※平成29年3月末時点

2 犬及び猫の不妊手術費等の助成

犬や猫の適正飼育を図るため、不妊手術費等の一部助成を行った。

区 分		助成額/件	26年度		27年度		28年度	
			件数	交付金額	件数	交付金額	件数	交付金額
犬	雄	円 3,000	件 104	円 312,000	件 93	円 279,000	件 71	円 213,000
	雌	4,000	110	440,000	99	396,000	88	352,000
猫	雄	2,500	176	440,000	214	535,000	204	510,000
	雌	3,500	280	980,000	301	1,053,500	287	1,004,500
計			670	2,172,000	707	2,263,500	650	2,079,500

○ 伊勢広域環境組合

し尿等処理、火葬業務について、伊勢市、明和町、玉城町、度会町の1市3町で構成する伊勢広域環境組合で衛生的、効率的に行った。

1 分担金内訳（伊勢市分）

区 分	し 尿	斎 場	計	備 考
共通経費	千円 2,326	千円 395	千円 2,721	平等割 10% 加入事務数割 90%
運営経費	179,745	30,553	210,298	実績割 100%
建設経費	10,819	8,831	19,650	平等割 10%、人口割 90%
公債費	13,401	—	13,401	元利補給金
計	206,291	39,779	246,070	—

2 し尿・浄化槽汚泥の月別投入量及び処理量（クリーンセンター）

月 分	総処理量 (伊勢市・玉城町・度会町分)	
	内 伊勢市分	
4	t 4,177	t 3,452
5	3,727	2,998
6	4,784	3,841
7	4,013	3,307
8	3,740	3,049
9	3,677	3,014
10	4,258	3,579
11	3,689	3,066
12	4,188	3,497
1	3,505	2,926
2	3,877	3,367
3	4,949	3,934
計	48,584	40,030

3 年度別処理実績の推移（クリーンセンター）

区 分	25 年度	26 年度	27 年度	28 年度
総処理量 (伊勢市・玉城町・度会町分)	t 58,586	t 52,653	t 51,531	t 48,584
内 伊勢市分	47,183	43,335	42,634	40,030

※市内し尿収集運搬業・浄化槽清掃業許可業者数 8 業者、許可車両台数 37 台（本許可車両 26 台、予備車両 11 台）

4 斎場利用状況

区 分	伊勢市	管内他町 (明和町・玉城町・度会町)	管 外	計
12 歳以上の者	件 1,520	件 499	件 67	件 2,086
12 歳未満の者	3	0	0	3
死産児	18	4	2	24
計	1,541	503	69	2,113
胞衣汚物	53 件			
霊安室利用	14			

5 年度別斎場利用実績の推移

区 分	25 年度	26 年度	27 年度	28 年度
伊勢市	件 1,479	件 1,475	件 1,506	件 1,541
管内他町（明和町・玉城町・度会町）	471	460	502	503
管外	86	66	87	69
計	2,036	2,001	2,095	2,113

※胞衣汚物及び霊安室利用を除く

○ 水道法関係

水道法に基づく専用水道、簡易専用水道に関する届出、三重県小規模水道条例に基づく水道の届出について、届出受理業務を行った。

区 分	設 置 届	廃 止 届
水道法（専用水道）に基づく届出	0	0
水道法（簡易専用水道）に基づく届出	1	0
三重県小規模水道条例に基づく届出	0	0

清 掃 課

○ ごみゼロ推進関係

1 「伊勢市ごみ処理基本計画」の推進

(1) 伊勢廃棄物減量等推進審議会の開催

ごみ処理における施策取組状況や推進状況を報告し、意見をいただいた。

【廃棄物減量等推進審議会】

伊勢市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例第8条の規定に基づき設置

構 成：学識経験者（2名）、市民（2名）、事業者等（2名）、地域住民組織（3名）、再生資源業者（1名）、関係行政機関（2名）

会 長：深草 正博（皇學館大学 教育学部教授）

副会長：宮岡 邦任（三重大学 教育学部教授）

(2) 啓発事業

ア 広報いせ及びケーブルテレビ「伊勢市行政チャンネル」による啓発

広報いせ「めざせ！ごみゼロのまち」コーナー及びケーブルテレビ「伊勢市行政チャンネル」によりごみの分け方・出し方を周知し、また、時期に応じて排出されるごみに着目した記事により適正排出を啓発した。

イ 自治会に対する説明会等の開催

依頼があった自治会等を対象に、ごみの分別や資源化に関する説明会を開催し、地域での分別及び資源化意識の向上を図った。

ウ ごみ分別ガイドブックの作成

家庭から出るごみの分別方法や資源物の出し方などをまとめた「ごみ分別ガイドブック」を65,000部作成し、広報いせ10月1日号と同時期に全戸に配布した。

また、本市のごみ事情を掲載し、ごみ減量、再資源化、3R推進について啓発を行った。

(3) 調査事業

市民が排出する燃えるごみの調査を行い、資源物の混入など分別状況を把握した。

ア 実施日 平成28年11月10日及び11日

イ 分別状況

品 目	割 合	品 目	割 合
生ごみ	31.4	段ボール	0.7
その他の燃えるごみ	32.2	布・衣類	6.4
雑誌・雑紙類	10.3	プラスチック製容器包装	8.3
新聞・折込チラシ	8.3	ペットボトル	0.4
飲料用紙パック	0.8	不燃ごみ	1.2

2 ごみの適正処理

(1) ごみ排出量及び処理経費

ごみの減量・資源化のための分別収集を推進した結果、過去5年間のごみ排出量及び処理経費の推移は次のとおりであった。

ア ごみ排出量の推移

年 度	24年度	25年度	対前年 度増減	26年度	対前年 度増減	27年度	対前年 度増減	28年度	対前年 度増減
燃える ごみ	t 43,111	t 42,828	% △0.7	t 43,683	% 2.0	t 43,159	% △1.2	t 42,948	% △0.5
粗大ごみ	1,530	1,236	△19.2	1,145	△7.4	1,191	4.0	1,163	△2.4
小 計	44,641	44,064	△1.3	44,828	1.7	44,350	△1.1	44,111	△0.5
資源物	6,390	6,379	△0.2	6,625	3.9	6,333	△4.4	5,992	△5.4
缶・金属類	950	836	△12.0	886	6.0	999	12.8	911	△8.8
投棄場 搬入量	646	1,200	85.8	921	△23.3	582	△36.8	660	13.4
合 計	52,627	52,479	△0.3	53,260	1.5	52,264	△1.9	51,674	△1.1

(注) 対前年度増減 (%) = (当該年度 - 前年度) / 前年度 × 100

イ ごみの各平均排出量

年 度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
各年度末人口 (人)	132,058	131,289	130,338	129,353	128,288
各年度末世帯数 (世帯)	53,840	54,193	54,333	54,554	54,787
総ごみ排出量 (t)	52,627	52,479	53,260	52,264	51,674
1日平均排出量 (t/日)	144.18	143.77	145.92	143.19	141.57
1日1人平均排出量 (g/人・日)	1,091.8	1,095.1	1,119.5	1,107.0	1,103.55
1日1世帯平均排出量 (g/世帯・日)	2,678.0	2,653.0	2,685.6	2,624.7	2,584.1

(注) 各年度末人口・世帯数は町別統計(住民基本台帳)を引用。

ウ 処理経費の推移

年 度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
処理経費	円 1,463,028,000	円 1,502,252,000	円 1,403,595,000	円 1,477,934,000	円 1,547,994,000
ごみ1t当りの 処理経費	27,800	28,626	26,354	28,278	29,957
1人当りの 処理経費	11,079	11,442	10,769	11,426	12,067
1世帯当りの 処理経費	27,174	27,720	25,833	27,091	28,255

(注) 処理経費は、毎年度環境省が実施している一般廃棄物処理事業実態調査で報告した数値。

(人件費、収集運搬・最終処分等に係る処理費、車両等購入費、ごみ処理委託料、組合分担金、各種委員会経費・補助金等に係るその他の経費を合算したもの。)

(2) 資源物の資源化

市内に設置した資源ステーション、資源拠点ステーション等で資源物の分別収集を行い、

伊勢広域環境組合清掃工場等の中間処理施設へ搬入し、ごみの資源化を図った。

また、廃棄物投棄場に搬入されたガレキ類についても中間処理施設へ搬入し、ごみの資源化を図った。

なお、過去3年間の委託・売却量、その他の推移は、次のとおりであった。

ア 資源びんの委託量等の推移

年 度	委託量		無 色	茶 色	その他の色	計
	委託量	委託料				
26年度	委託量(kg)		480,100	355,690	160,230	996,020
	委託料(円)		63,373	325,456	125,460	514,289
27年度	委託量(kg)		479,660	344,750	171,440	995,850
	委託料(円)		63,315	299,933	161,154	524,402
28年度	委託量(kg)		453,320	330,270	167,340	950,930
	委託料(円)		57,118	272,472	146,087	475,677

イ その他資源物の委託量等の推移

年 度	委託量		プラスチック 製容器 包装	ガラス・く ずびん類	陶磁器類	乾電池	蛍光管	鏡	ガレキ類
	委託量	委託料							
26 年 度	委託量		kg	kg	kg	t	t	t	t
	委託料		936,660	163,900	289,260	39	29	3	235.28
27 年 度	委託量		円	円	円	円	円	円	円
	委託料		553,896	2,023,247	5,623,214	3,453,840	2,630,880	307,800	1,403,127
28 年 度	委託量		932,830	158,600	295,180	41	28	3	109.04
	委託料		438,430	2,021,198	5,738,299	3,763,800	2,540,160	324,000	114,933
28 年 度	委託量		916,500	154,720	263,720	41	25	6	110.31
	委託料		412,425	2,339,366	5,838,760	3,763,800	2,268,000	648,000	251,983

(注) ガラス・くずびん類とはガラス製の食器・板ガラス・割れた資源びんなどのこと。乾電池・蛍光管・鏡について、伊勢広域環境組合から提供を受けた委託量が概数であるため委託料は参考値。

ウ 紙類・布類の売却量等の推移

年 度	売却量 及び 売却額	新聞・折込 チラシ	雑誌・雑紙類	段ボール	飲料用紙 パック		布・衣類	計
					200ml 以外	200 ml		
					26 年 度	売却量 (kg)		
	売却額 (円)	5,197,610	4,764,391	2,983,560	118,195	0	183,765	13,247,521

27年度	売却量 (kg)	846,240	1,035,820	751,640	23,320	0	169,040	2,826,060
	売却額 (円)	5,077,440	5,179,100	3,758,200	139,920	0	338,080	14,492,740
28年度	売却量 (kg)	797,020	923,750	720,580	21,230	0	154,780	2,617,360
	売却額 (円)	4,782,120	4,618,750	3,602,900	127,380	0	309,560	13,440,710

エ その他資源物の売却量等の推移

年 度	売却量	ペットボトル	小型家電
	売却額		
26年度	売却量	kg 310,360	kg 169,630
	売却額	円 12,764,800	円 1,173,376
27年度	売却量	281,235	158,800
	売却額	4,347,060	593,950
28年度	売却量	280,110	181,040
	売却額	1,786,568	1,384,797

(注) 小型家電については、缶・金属類で分別回収し、ピックアップ方式により回収した。

オ 資源化率の推移

年 度	26年度	27年度	28年度
資源化率	17.70%	17.01%	16.24%

(注) 資源化率 (%) = (再生資源回収団体の資源回収量 + 市の資源回収量) / (再生資源回収団体の資源回収量 + ごみ総排出量) × 100

市の資源回収量 = (市で回収した資源物量) + (粗大ごみ処理施設で選別した鉄・アルミ回収量)

なお、平成 28 年度から「土砂」の委託量を資源物量から除いた。

3 3Rの推進

(1) マイバッグ持参・レジ袋有料化の取り組み

地球温暖化防止と循環型社会構築を目指し、市民・事業者・行政が連携・協力して、マイバッグ持参運動を推進するためにレジ袋有料化の取り組みを行った。

(2) ごみ減量化容器設置補助金事業

生ごみの自家処理を促進し、ごみの減量化を図ることを目的に、ごみ減量化容器を購入及び設置した市民・事業者に対し補助金を交付した。

ア 家庭用 (過去 3 年間の推移)

年 度	交付申請件数	補助金交付基数	補助金交付額
26年度	件 82	基 98	円 1,457,400

27年度	件 77	基 86	円 1,318,800
28年度	85	88	1,477,900

イ 事業所用

年 度	交付申請件数	補助金交付基数	補助金交付額
27年度	件 1	基 1	円 810,000
28年度	0	0	0

(注) 平成 27 年度から補助開始

(3) 廃食用油回収事業

地球温暖化防止と循環型社会の形成のため、ごみの減量化、資源化の推進事業として、市内全域を対象に廃食用油を回収し、再生利用を行った。

ア 廃食用油回収容器設置場所 計 81 か所

※資源拠点ステーション、小・中学校、中学校給食共同調理場その他の公共施設

イ 回収状況（過去3年間の推移）

年 度	廃食用油回収量
26年度	ℓ 30,177
27年度	29,435
28年度	27,650

(4) ペットボトルキャップの回収

ペットボトルのキャップをプラスチック製容器包装として分別回収しているが、市民がペットボトルキャップ回収・寄附活動運動に協力していただけるよう、市内の資源拠点ステーション、各総合支所生活福祉課、各支所、清掃課にペットボトルキャップ回収容器を設置した。

ア 回収状況（過去3年間の推移）

年 度	重 さ	個数（約）	ポリオワクチン
26年度	kg 8,383.4	個 3,590,462	人分 4,175.0
27年度	7,505.8	3,227,494	3,752.9
28年度	8,747.8	3,761,554	4,373.9

4 排出環境の整備

(1) 廃棄物集積所設置補助事業

燃えるごみの排出場所の集積化を促進し、ごみ収集の効率化を図るとともに、ごみの散乱を防止し、市民の美化意識の高揚を図ることにより、市民の良好な生活環境を確保することを目的として、燃えるごみ集積所を設置した自治会等に対し補助金を交付した。

ア 交付状況（過去3年間の推移）

年 度	交付申請件数	補助金交付基数	補助金交付額
26年度	件 46	基 68	円 6,180,057

27年度	件 37	基 56	円 5,832,803
28年度	33	54	4,596,919

(注) 利用世帯数に応じて補助金限度額の設定をして実施した。

(2) 廃棄物投棄場管理事業

ア 搬入状況

市民自己搬入分と公共関係搬入分として下記の搬入状況となった。

区 分	伊 勢			小 俣			計		
	車数	搬入量	手数料 収入	車数	搬入量	手数料 収入	車数	搬入量	手数料 収入
市民自己 搬入分	車 152	kg 55,498	円 163,760	車 105	kg 34,770	円 94,310	車 257	kg 90,268	円 258,070
公共関係 搬入分	543	570,370	—	1	80	—	544	570,450	—
計	695	625,868	163,760	106	34,850	94,310	801	660,718	258,070

イ 委託関係

埋立廃棄物の減量・資源化を推進し、廃棄物投棄場を適正管理するため下記の事業を行った。

施行場所	委 託 名	委 託 概 要	金 額	着 手	完 了
朝 熊 町 地 内	ガレキ類再資源化 業務委託	引取量 ガレキ類 86.88t 瓦類 23.43t	円 251,983	28. 9. 12	29. 1. 23
〃	土砂再資源化業務 委託	引取量 土砂 704.12t	13,764,137	28. 11. 15	28. 12. 9
朝 熊 町 地 内 ほか	伊勢市廃棄物投棄 場の地下水等水質 調査	6 か所	1,080,000	28. 11. 24	29. 2. 24
計	3 件	—	15,096,120	—	—

5 啓発・教育の推進

(1) 廃棄物減量等推進員の配置

市と市民をつなぐパイプ役として、また地域のリーダーとして66自治会より推薦された126名を廃棄物減量等推進員として委嘱し、ごみ減量、リサイクルの普及・啓発、ごみの分別・出し方の指導等の役割を依頼した。

(2) 再生資源回収事業奨励金

ごみの減量化を促進し、資源の再生化を図るとともに、ごみに対する市民の意識を高めることを目的に、自治会・PTA等再生資源の回収事業を行う団体に対し、奨励金を交付した。

年度	登 録 団体数	交 付 団体数	回 収 量					奨 励 金 交 付 額
			紙 類	布 類	金 属 缶 類	計	びん	
26年度	団体 168	団体 155	kg 2,652,750	kg 52,910	kg 68,743	kg 2,774,403	本 3,502	円 8,333,540

27年度	団体 165	団体 149	kg 2,428,810	kg 49,000	kg 62,432	kg 2,540,242	本 2,952	円 7,629,350
28年度	165	146	2,122,166	44,430	54,656	2,221,252	2,800	6,671,960

(注) 1kg 当たり 3 円、リターナブルびんについては 1 本当たり 3 円の奨励金を交付した。

(3) ごみの分別等についての説明会の実施

希望する団体を対象に伊勢市のごみの現状及びごみの分け方・出し方について、説明会を延べ 45 回開催し、延べ 1,224 人の参加があった。

(4) ごみカレンダーの作成

地区別ごみの収集日を記載した「平成 29 年度版ごみカレンダー」を 65,000 部作成し、広報いせ 3 月 1 日号と同時期に全戸に配布した。

(5) 伊勢市環境会議（ごみ関係）

ごみの減量化・資源化の推進を目的とした以下の事業に取り組んだ。

実施日	実施事業名	概要	備考
28. 5. 7	クリーンアップ活動 i n 伊勢	「伊勢志摩サミット伊勢おもてなし会議」が主催したクリーンアップ活動に主体的に参加し、おもてなしの心を持って来訪者を歓迎するため、国際メディアセンター周辺(県営サンアリーナ周辺)を清掃した。(開催日が、5月30日に近かったため、ごみゼロ活動の一環とした。)	参加者 約750人 燃えるごみ 540kg
28.10. 9	ごみゼロポスター コンクール	家庭でごみ問題について話し合うきっかけづくりとして、市内小中学校へ「3Rの推進」「ポイ捨て・不法投棄の防止」などをテーマに作品募集を行ない、環境フェアにおいて受賞者への表彰式を開催した。	受賞者 計66人 (応募作品数799作品)

6 不法投棄防止対策事業

(1) パトロール及び不法投棄監視カメラによる防止対策

不法投棄防止に対する啓発看板の作成及び配布とともに、パトロールや監視カメラを設置することにより、不法投棄の未然防止に努めた。

(2) 不法投棄の通報への対応

市民等の通報を受け、現場で投棄物の調査を行い、投棄者を特定できれば警察と連携して撤去を要請し、再発の防止に努めた。投棄者が不明の場合は看板で啓発し、一定期間を経て、更なる不法投棄を招かないように投棄物を回収した。

なお、投棄場所が市の所有地(管理地)以外の場合は、土地の所有者(管理者)に連絡して対応を求めた。

ア 主な不法投棄物の回収状況（過去3年間の推移）

年 度	テレビ	冷蔵庫 冷凍庫	洗濯機 衣類乾燥機	エアコン	タイヤ
26年度	台 104	台 27	台 16	台 0	本 77
27年度	101	26	13	2	89
28年度	83	16	21	1	90

7 広告収入の推進

新たな財源の確保及び事業経費の削減を図るため、じん芥収集車両・ごみカレンダーにおいて広告主の募集を行い、企業広告を掲載した。

事 業 名	広 告 媒 体	広告掲載数	収 入 額
じん芥収集車両掲載広告事業	じん芥収集車両	台 5	円 810,000
ごみ減量・資源化事業一般経費	ごみカレンダー	枠 20	600,000
計	—	25	1,410,000

○ 一般廃棄物収集関係

市内の一般廃棄物（燃えるごみ、粗大ごみ、資源物及び小動物の死体）を車両 36 台、収集人員 46 名の体制（一部民間委託）で収集を行った。収集した一般廃棄物については、伊勢市、玉城町、明和町、度会町の 4 市町で構成する伊勢広域環境組合、古紙業者及び民間業者へ搬入し処理を行った。

また、ハッピーマンデー（年 4 回：海の日、敬老の日、体育の日、成人の日）、年末（12 月 29 日）について臨時収集を行った。

1 収集体制

(1) 収集車両

ア 所管している車両

4 t パッカー	3 t パッカー	2 t パッカー	2 t ダンプ	2 t パワーリフト
台 2	台 12	台 8	台 5	台 1
2 tトラック	1 tトラック	軽四ダンプ	軽四トラック	計
台 3	台 1	台 3	台 1	台 36

イ 車両の購入

耐用年数が経過し、老朽化により収集業務に支障が出るため、車両を順次買い替え業務の効率化を図った。

種 別	台 数	金 額
2 t ダンプ	台 1	円 322,330

2t パッカー（回転板式）	台 1	円 5,616,330
2t パッカー（プレス式）	2	11,111,699

ウ 車両の売却

老朽化等により不要となった車両をインターネットオークションにて売却した。

種 別	台 数	金 額
2 tトラック （パワーゲート付）	台 1	円 555,000
2 t ダンプ	1	455,000

エ 車載式計量器の搭載

車載式計量器を購入し、2 t ダンプ車（1台）に搭載した。

種 別	台 数	金 額
車載計量器	台 1	円 756,000

(2) 収集人員

一般廃棄物の収集を職員 46 名の人員で行った。

(3) 委託関係

資源物回収袋の洗浄及び補修業務を公益社団法人伊勢市シルバー人材センター、粗大ごみ収集運搬業務の一部を民間業者に委託した。

また、旧伊勢市地区及び小俣町地区・二見町地区の資源物収集運搬業務の一部、及び御菌町地区の燃えるごみ及び資源物の収集運搬業務の一部を、下水道の整備等に伴う一般廃棄物処理業等の合理化に関する特別措置法により定めた各地区の合理化事業計画（旧伊勢市地区、小俣町地区、御菌町地区及び二見町地区）に基づき、旧伊勢市地区の 4 業者、小俣町地区の 1 業者、御菌町地区の 1 業者、二見町地区の 1 業者に委託した。

施行場所	委 託 名	委 託 概 要	金 額	着 手	完 了
伊 勢 市 内 地 区	資源物回収袋洗浄等 業務委託	回収袋の洗浄及び補修 業務委託 一式	円 11,477,096 【単価契約】 832 円/人日 事務費 8%	28. 4. 1	29. 3. 31
〃	町内一斉粗大ごみ 収集運搬業務委託	町内一斉粗大ごみ収集 運搬業務委託 一式	1,159,920	28. 4. 1	29. 3. 31
伊 勢 市 内 （旧伊勢市 地 区 ）	一般廃棄物収集運搬 （その1）業務委託	資源物（資源びん、紙・ 布類、プラスチック製 容器包装）収集運搬業 務委託 一式	89,640,000	28. 4. 1	29. 3. 31
〃	一般廃棄物収集運搬 （その2）業務委託	資源物（資源びん、紙・ 布類、ペットボトル） 収集運搬業務委託 一式	78,227,640	28. 4. 1	29. 3. 31

伊勢市内 (旧伊勢市 地区)	一般廃棄物収集運搬 (その3)業務委託	資源物(プラスチック製 容器包装)収集運搬 業務委託 一式	円 46,980,000	28. 4. 1	29. 3. 31
小俣町内	一般廃棄物収集運搬 (その4)業務委託	資源物(プラスチック製 容器包装、紙類、ペット ボトル、資源びん、布類、 ガラス・くずびん類、陶 磁器類、プラスチック製 容器包装回収袋配置、ペ ットボトル回収袋配置) 収集運搬業務委託 一式	25,704,000	28. 4. 1	29. 3. 31
御菌町内	一般廃棄物収集運搬 (その5)業務委託	燃えるごみ、資源物 (缶・金属類、資源び ん、紙・布類、プラス チック製容器包装、ペ ットボトル、ガラス・ くずびん類、陶磁器類) 収集運搬業務委託 一式	32,292,000	28. 4. 1	29. 3. 31
二見町内	一般廃棄物収集運搬 (その6)業務委託	資源物(資源びん、紙・ 布類、プラスチック製 容器包装、ペットボト ル、ガラス・くずびん 類、陶磁器類)収集運 搬業務委託 一式	15,990,480	28. 4. 1	29. 3. 31
伊勢市内 (旧伊勢市 地区)	一般廃棄物収集運搬 (その7)業務委託	資源物(ガラス・くず びん類、陶磁器類)収 集運搬業務委託 一式	21,600,000	28. 4. 1	29. 3. 31
計	9件	—	323,071,136	—	—

※合計は、各行の最上段を合算。

2 燃えるごみの収集状況

(1) 一般収集

燃えるごみの収集については、市内全域を2地区(月・木曜日地区、火・金曜日地区)に分け、旧伊勢市地区、二見町地区、小俣町地区を収集14コースにて週2回収集した。御菌町については、業務委託により同様に週2回収集を行った。

有料収集については、戸別に粗大ごみ等の収集を行った。

町内一斉粗大ごみ収集については、市内各自治会(区)の要請により年1回、収集を行った。

早朝清掃、ボランティア清掃等に伴い発生するごみについては、随時収集を行った。

燃えるごみ		粗大ごみ		計	
延べ収集車数	収集量	延べ収集車数	収集量	延べ収集車数	収集量
車	kg	車	kg	車	kg
19,943	25,763,090	281	234,360	20,224	25,997,450

3 資源物の収集状況

缶・金属類、資源びん、紙・布類（新聞・折込チラシ、雑誌・雑紙類、段ボール、飲料用紙パック、布・衣類）、ペットボトル、プラスチック製容器包装、ガラス・くずびん類、陶磁器類について、市内を22地区（旧伊勢市地区16、二見町地区2、小俣町地区2、御菌町地区2）に分け、1,004か所の資源ステーションを設置し、プラスチック製容器包装は週1回、缶・金属類、資源びん、紙・布類、ペットボトル、ガラス・くずびん類、陶磁器類は月1回収集を行った。

乾電池、蛍光管については、資源拠点ステーションや市内公共施設の一部115か所で適時収集を行った。

区 分	収集量	区 分	収集量
缶・金属類（注）	kg 1,026,740	布・衣類	kg 154,780
資源びん	1,111,270	ペットボトル	319,090
新聞・折込チラシ	797,020	プラスチック製容器包装	1,131,310
雑誌・雑紙類	923,750	ガラス・くずびん類、陶磁器類	25,080
段ボール	720,580	蛍光管	24,530
飲料用紙パック	21,230	計	6,255,380

（注）小型家電製品及び乾電池の収集量を含む。

4 資源拠点ステーションの開設状況

資源物の収集効率の向上を図るため、資源拠点ステーションを平成14年度から順次開設している。開設状況としては、平成28年度末現在で19か所（伊勢中央・宇治・船江・城田・中島・佐八・明倫・神社・厚生・早修・北浜・宮本・沼木・大湊・いせトピア・二見・小俣・御菌及び明野）を開設し、支所での管理のほか、公益社団法人伊勢市シルバー人材センター、地元自治会等にステーションでの受付等の業務を委託した。

（1）委託関係

施行場所	委 託 名	委 託 概 要	金 額	着 手	完 了
船江4丁目 地内ほか	資源拠点ステーション 受付等業務委託	資源物受付及び搬入 車両誘導等業務 一式	円 8,428,855 【単価契約】 832～1,233 円/人日 事務費8%	28. 4. 1	29. 3. 31
宮後2丁目 地内	伊勢中央資源拠点ステーション 受付等業務委託	資源物受付及び搬入 車両誘導等業務 一式	1,900,000	28. 4. 1	29. 3. 31

宇治浦田 2丁目 地	宇治資源拠点ステーション受付等業務委託	資源物受付及び搬入 車両誘導等業務 一式	円 700,000	28. 4. 1	29. 3. 31
中須町 地	城田資源拠点ステーション受付等業務委託	資源物受付及び搬入 車両誘導等業務 一式	700,000	28. 4. 1	29. 3. 31
二見町三津 地	二見資源拠点ステーション受付等業務委託	資源物受付及び搬入 車両誘導等業務 一式	700,000	28. 4. 1	29. 3. 31
前山町 地	宮本資源拠点ステーション受付等業務委託	資源物受付及び整理	48,000	28. 4. 1	29. 3. 31
計	6件	—	12,476,855	—	—

※合計は、各行の最上段を合算。

5 一般廃棄物処理手数料

(1) 粗大ごみ等の有料収集手数料として664件、1,925,830円を徴収した。

また、猫等の小動物470体の死体収集を行い、そのうちペットとして飼われていた52体については、1体につき1,080円の手数料として、56,160円を徴収した。

(2) 天災等特別な事由により発生した一般廃棄物処理手数料の免除を行った。

区分	火災	台風	強風	計
件数	件 5	件 1	件 0	件 6

6 伊勢市ふれあい収集事業

一人暮らしで一定以上の介護認定を受けているお年寄りや身体が不自由な方など、燃えるごみや資源物を自ら集積所等まで出すことが困難な家庭に対し、燃えるごみ及び資源物の戸別収集を行う、ふれあい収集事業を実施した。(収集回数52回、収集量9,080kg)

利用希望者の申請をもとに3回の審査会を開催し、3件の審査の結果2件の実施を決定した。

○ 伊勢広域環境組合

伊勢市、玉城町、明和町、度会町の1市3町で構成する伊勢広域環境組合で、ごみの適正処理を衛生的、効率的に行えるよう努めた。

1 分担金内訳

区分	伊勢市分			備考
	ごみ	粗大ごみ	計	
共通経費	千円 5,619	千円 1,289	千円 6,908	平等割10% 加入事務数割90%
運営経費	434,299	99,589	533,888	実績割100%
建設経費	158,494	—	158,494	平等割10% 人口割90%
公債費	215,584	—	215,584	元利補給金
清掃事業所負担金	3,148.2	—	3,148.2	
計	817,144.2	100,878	918,022.2	